

みなはや会・名古屋大学ヨット部機関誌

みなはや

2025 第57号



もくじ

もくじ	1
部長・会長挨拶	2
主将挨拶	3
現役活動報告	4
新艇・レスキューボート購入計画	12
4年生引退ブログ	13
現役部員紹介	17
みなはや会活動報告	23
名大主管七大戦報告	24
みなはや会関東支部総会記録	26
大阪大学ヨット部再生の施策	27
470級導入の経緯	28
会員の近況	30
みなはや会総会記録	32
みなはや会会則	33
ヨット部ホームページの紹介	34
会計報告	35
年会費・寄附金納入者リスト	36
会員名簿	37

表紙写真 フェイスブック「名古屋大学ヨット部」より

部長挨拶

名古屋大学大学院工学研究科教授
名古屋大学体育会ヨット部 部長
伊藤 靖仁

2024年度は蒲郡で行われた七大戦に参加するなど、ある意味初めて本格的にヨット部にかかわった年となりました。現役とOBが一体となって大会を実施する様は頼もしく、久しぶりに熱を感じられた瞬間となりました。また、OB戦でしたがレースもボートから観戦させていただきありがとうございました。さらに今年は、ヨットはなぜ風上方向に動けるのかというのがテーマの一つとなった（そうなるように途中から持っていったのですが）学会イベントで講師をしましたので、部員の皆さんに勉強がてら手伝ってもらいました。ある意味私がヨット部員に教えられる唯一の話でしたが、皆さんわかってもらえたのでしょうか。理解したところで七大戦の順位が上がるわけではないかもしれませんが、ヨットにかかわっているのに答えられないとちょっと恥ずかしいと思いますのでぜひ知っておいてください。

名大ヨット部 復活？

名古屋大学ヨット部 OB・OG会／みなはや会
会長 岡野 悟

2024年は名大ヨット部にとって1つの節目の年でありました。

まずは7月に蒲郡で開催された七大戦。七年前、名大主幹で開催できず苦しい思いをした屈辱を晴らすべく若手OBでの全面運営、現役も両クラスの出場、トップフィニッシュを含めたレース善戦、また関東支部を中心とした大勢のOBが応援に駆け付け30名近くの懇親会を開催できたこと、いろいろな面でV字回復を感じた1年でした。

現役も30名近くのメンバーを維持し、インカレは団体出場こそ逃したとは言え中部で両クラス2位、個戦に至っては各クラス3艇の全日本出場など大いに頑張ってくれました。

また年末に、H8卒、古川氏（現在は名城大学ヨット部長）が、全日本学連の会長に就任するBIGニュースが飛び込んできました。みなはや会から全国学連の会長を輩出することは非常に喜ばしいことです。

みなはや会としては、活性化に向け20年ぶりの会誌発行、メールなどによる情報発信等で、より身近に「海」を感じていただけたのではないかと思います。

七大学のOB、中部水域の大学関係者からは「名大復活」のお声もいただいています。素直にうれしいと感じると共に、ここまでの地ならしをしていただいた前会長佐藤さん、前々会長の森田さん、またご尽力いただいたOB諸氏に改めて感謝を申し上げます。

ただ、まだ住所不明のOBの存在や、会費の納入率も38%止まり、現役の両クラスインカレ出場はまだお預けになっています。上昇機運に乗りつつあるも、まだ道半ばと感じます。本当の意味での「復活」を目指し、みなはや会の活性化に引き続きご協力をお願いします。

1月に開催された、「みなはや総会」では、創立記念行事開催の話も出始めています。大阪大学（2024年）、京都大学（2025年）が90周年を開催する中、みなはや会は90周年（2022年）を逃してしまいました。ただ意識して上記七大戦を優先した結果です。100周年の前に、95周年記念行事開催をまず目指し機運を高めていきたいと思っています。

もっともっと、みなはや会で楽しみましょう。

主将挨拶

名古屋大学体育会ヨット部
主将 3年 杉森 光

平素よりお世話になっております。この度主将となりました工学部物理工学科3年生の杉森光と申します。スナイプクラスのスキッパーをしております。

まず初めに、昨年度は名古屋大学が主幹校となり蒲郡で七大会が開催されました。H5 石原さん、R3 酒井さんをはじめとした多くのOB・OGの皆様のご尽力により現役は最高な環境の中大会に臨むことができました。質の高い大会にしようと早くから入念な準備をしていただき本当にありがとうございました。また、全国から応援に駆けつけてくださったOB・OGの皆様にも深く感謝申し上げます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

今年度の目標は「両クラスインカレ出場」です。この目標は自分が入部する以前より長年掲げられてきた目標ですが、いまだに達成できておりません。一昨年のスナイプクラスがインカレに出場するなど片クラスでのインカレ出場はありましたが、両クラスでのインカレ出場はできておりません。

昨年度インカレ出場を逃してしまいましたが、部として実りがなかったかと言われると、そんなことは全くないと思っております。個人戦では両クラス合わせて6艇が予選を突破しており、個人戦本戦への出場を決めることができました。さらに全日本470へ3艇、全日本スナイプへは2艇出場することができ、全国の舞台で走る機会が以前と比べて多くなったと感じます。また七大会を含めこれらの大会で前を走れる場面があり、部として成長が感じられる大会が多くありました。このように全国にも通ずる実力を身につけつつありましたが、中部を突破することができませんでした。これは個人個人が自艇の結果に集中するあまり、連携のある団体としての戦い方ができなかったことが課題点として挙げられます。結束力のあるチームにするためにも普段の練習から本番を意識し、上級生下級生関係なく両クラスインカレ出場という同じ目標を目指していけるようチームをまとめて参りたいと思います。また今回の団体戦予選は風が弱く、不安定な風の中行われました。どんな風域、コンディションの中でも勝ち切れるよう可能な限り出艇し、練習の質を上げていけるよう今一度練習を見直し、部員一人一人が練習のさらなる効率化を意識していきたいと思っております。

また部の運営としても課題点があり、現在部員数が減少傾向にあります。やはり部員が多い方が練習や大会で受けられる恩恵が大きく、七大会や強豪校を見ますと部員数が多く選手面でもサポート面でも非常に厚いと感じます。ヨット部の継続的な成長と、何よりOB・OGの皆様が苦勞して復活させました大切な部活を存続させていくためにも、今年は新歓へ大きく力を入れて参りたいと思います。

最後になりますが、昨年度はOB・OGの皆様から多大なるご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございました。今年度も部員一同目標達成に向けて全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

現役活動報告

2024年 参加レース

日程	レース名	開催地	備考
2023	12/9 海陽ミッドウインター第1戦	海陽YH	
	12/10 AYFプラクティスシリーズ師走カップ	海陽YH	
2024	1/13 AYFプラクティスシリーズ睦月カップ	海陽YH	
	1/14 海陽ミッドウインター第2戦	海陽YH	
	2/3 AYFプラクティスシリーズ如月カップ	海陽YH	
	2/4 AYFプラクティスシリーズ節分カップ	海陽YH	
	3/16-17 春季中部学生ヨット選手権（新人戦）	津YH	470：1位 スナイプ：4位
	3/28-29 名古屋大学・大阪大学対抗ヨット競技	新西宮YH	470：2位、スナイプ：2位 総合2位
	5/5 スナイプDAYヨット選手権 470中部オープン選手権	海陽YH	
	6/2 ミッドランドJAPANヨット選手権	海陽YH	
	6/15-16 中部学生ヨット個人選手権	海陽YH	470：3艇出場 スナイプ：3艇出場
	7/6-7 中部470級ヨット選手権 中部スナイプ級ヨット選手権	海陽YH	470：3艇出場 スナイプ：2艇出場
	7/13-15 国立七大学総合体育大会ヨット競技	海陽YH	470：6位、スナイプ：4位 総合5位
	8/20-25 全日本470級ヨット選手権 全日本スナイプ級ヨット選手権	江の島YH 鳥取県境港	470：74, 75, 90位/91艇 スナイプ：29, 52位/72艇
	9/5-8 全日本学生ヨット個人選手権	海陽YH	470：38, 47, 48位/55艇 スナイプ：24, 34, 37位/55艇
	10/5-6 秋季中部学生ヨット選手権	海陽YH	470：2位 スナイプ：2位

主なレース結果

3/16-17 春季中部学生ヨット選手権（津YH）

470級							スナイプ級							総合			
順位	大学名	1R	2R	3R	4R	得点	順位	大学名	1R	2R	3R	4R	得点	順位	大学名	得点	
1	名古屋	2	2	2	2	81	1	三重	11	15	17	12	55	1	名工	153	
		3	6	4	4		2	名工	20	14	9	19	62	2	名古屋	196	
		6	22	22	6		3	名城	32	19	29	34	114	3	名城	213	
2	名工	23	14	16	38	91	4	名古屋	2	9	5	7	115				
3	名城	33	33	18	15	99			12	13	12	5					
4	愛知	39	35	40	45	159			11	10	15	14					
5	東海	52	43	42	34	171	5	愛工科	60	61	62	62	245				
6	愛工	41	54	52	46	193											
7	静岡	72	63	61	72	268											

今大会は初日に4レース行い、その後風が落ちてノーレース。2日目は朝から風がなく、レースは行われませんでした。470クラスは艇の不備で2レースほど英語をつけてしまいましたが、最後まで諦めずに戦い、見事優勝することが出来ました。スナイプクラスは悔しい結果に終わってしまいましたが、課題がたくさん見つかった貴重なレースになったと思います。両クラスとも来年度の団体戦予選に向けてたくさんやるべきことが見つかった大会になりました。

3/28-29 名古屋大学・大阪大学対抗ヨット競技 (新西宮 YH)

470級							
順位	大学名	1R	2R	3R	4R	5R	得点
1	大阪	1	1	2	2	1	37
		7	7	4	1	2	
		4	2	7	4	7	
2	名古屋	2	1	3	3	3	41
		3	3	1	3	4	
		7	5	5	6	5	

スナイプ級							
順位	大学名	1R	2R	3R	4R	5R	得点
1	大阪	3	2	1	1	2	33
		4	1	4	2	3	
		1	3	3	3	9	
	オープン	7	5	6	4	6	
2	名古屋	2	7	3	3	1	48
		3	4	2	6	3	
		3	6	5	5	4	
	オープン	5	3	9	9	9	

総合		順位	大学名	得点
		1	大阪	70
		2	名古屋	89

6/15-16 中部学生ヨット個人選手権 (海陽 YH)

470級 (全20艇)											
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	得点
1	名工		3	1	1	3	1	2	1	4	13
2	名工		4	2	3	1	6	1	4	5	23
3	名古屋	林/近藤	1	3	2	7	5	6	3	9	27
4	名古屋	石原/山田	2	1	5	4	3	8	6	6	34
5	愛工		5	4	8	2	20	3	5	10	37
6	名古屋	蜂須賀/古川	10	6	14	10	7	4	2	1	40
7	名古屋	高橋/岩田	8	10	4	6	8	5	1	2	43

スナイプ級 (全20艇)											
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	得点
1	三重		2	1	1	1	2	2	1	2	11
2	名古屋	松島/松平	1	3	1	4	1	12	2	9	21
3	名古屋	森田/柴田	3	3	8	2	4	3	3	1	24
4	名城		10	8	3	10	5	6	4	5	41
5	名古屋	鈴木/近藤	5	2	7	3	7	11	11	7	42
6	名城		4	4	5	8	6	13	7	10	44
14	名古屋	川上/中島	13	13	15	12	15	5	14	13	87
15	名古屋	杉森/奥村	11	13	14	6	12	17	15	16	87

3/28は名古屋大学と大阪大学の合同練習。午前は微風ながらも出艇し、帆走練や三角マーク練をしました。午後は風がさらに落ちたため出艇を取りやめ、大縄大会を開催しました。他大学の選手と同じ艇に乗る機会は貴重なので刺激を受けた部員も多かったようです。大縄大会は大学対抗とクルーVS スキッパーの二回行いどちらも盛り上がりしました。

3/29は10から15ノットの風が吹き、両クラスとも5レース完走しました。名古屋大学としては悔しい結果で終わってしまいましたが、西宮の海面で帆走った経験や陸での阪大生を交えたミーティング等で得られた知識も多かったようです。

大阪大学ヨット部の皆さんには大変お世話になりました。マネさんお手製のエッセンには名大ヨット部員一同感激しておりました。とても美味しかったです。艇庫で泊まらせていただいた部員も多く、皆さん優しく名大ヨット部を歓迎してくださり嬉しかったです。二日間ありがとうございました。来年の開催は蒲郡となります。その前に個人戦や団体戦で両校さらなる成長を遂げた姿でお会いできることを楽しみにしています。また来年もよろしくお願いします。



7/6-7 中部 470 級・スナイプ級ヨット選手権 (海陽 YH)

470級 (全24艇)											
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	得点		
4	名古屋	林/近藤	6	5	1	4	7	3	25		
5	名古屋	石原/岩田	4	3	4	5	5	8	26		
6	名古屋	蜂須賀/山田	5	6	8	12	6	4	29		
16	名古屋	棟田/古川	17	16	13	16	14	15	78		
22	名古屋	大迫/荒島	21	25	20	25	20	20	106		

スナイプ級 (全34艇)											
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	得点		
5	名古屋	松島/松平	6	3	13	15	4	9	35		
11	名古屋	森田/柴田	8	9	6	5	17	22	45		
17	名古屋	鈴木/近藤	15	18	10	21	16	16	75		
27	名古屋	杉森/奥村	33	26	32	23	28	23	132		
31	名古屋	川上/中島	19	31	31	31	35	35	147		

海陽ヨットハーバーにて中部470級ヨット選手権大会と中部スナイプ級ヨット選手権大会が開催されました。470級は全日本470の予選であり、6位までが出場権を得られます。今回は林/近藤、石原/岩田、蜂須賀/山田の3艇が出場権を獲得しました。スナイプ級は全日本スナイプへのポイントのつく最後のレースであり、これにて松島/松平、森田/柴田が出場権を得ました。今大会は風に恵まれ、6レースすべて消化しました。また、夏には珍しく北西～西の風で振れがなかなか読めず、苦労した場面も多く見られました。しかし、実業団の艇と一緒に走る機会も増え、たくさんのことを吸収できた大会となりました。夏休みの大会に向け、もっと成長していければと思います。

7/13, 14, 15には七大会が海陽ヨットハーバーにて開催されます。OB・OGのみなさま、ぜひ応援にお越しください。去年よりも良い成績を残せるよう、気合いが入っております。部員一同お待ちしております。

7月 国立七大学総合体育大会ヨット競技（海陽 YH）

470級										
順位	大学名	1	2	3	4	5	6	7	8	得点
1	東京	4	1	10	7	1	3	2	1	75
		2	3	3	6	4	12	7	9	
2	九州	3	7	2	4	7	9	10	2	77
		7	4	5	3	2	1	6	5	
3	京都	10	6	9	2	6	6	8	10	101
		6	2	6	1	5	7	9	8	
4	東北	1	10	6	9	3	2	11	7	131
		9	8	13	12	9	4	13	14	
5	大阪	15	9	4	13	11	11	9	11	149
		11	15	7	5	8	15	1	4	
6	名古屋	12	10	11	14	15	5	12	12	162
		5	15	12	11	12	8	5	3	
7	北海道	8	11	8	8	10	10	3	13	166
		13	12	14	10	13	13	14	6	

スナイプ級									
順位	大学名	1	2	3	4	5	6	7	得点
1	東北	2	12	2	5	1	10	2	95
		8	6	8	11	4	7	6	
2	京都	15	1	4	1	2	2	1	101
		5	15	7	12	14	13	9	
3	東京	4	10	11	8	11	6	2	104
		9	2	10	14	9	3	5	
4	名古屋	6	15	5	7	10	11	3	107
		1	15	13	2	3	1	15	
5	北海道	7	8	6	10	8	5	8	109
		15	3	3	6	12	14	4	
6	九州	12	15	1	4	7	12	11	115
		3	9	9	9	5	8	10	
7	大阪	11	5	15	13	6	9	7	124
		10	4	12	3	13	4	12	

総合		
順位	大学名	得点
1	東京	179
2	九州	192
3	京都	202
4	東北	226
5	名古屋	269
6	大阪	273
7	北海道	275

2日間を通して軽風コンディションが続き、レースの継続が危ぶまれる場面が何度かありましたが、470は8レース、スナイプは7レースを消化しました。また、今回は名古屋大学が主幹校となり開催されたため、レース委員長の酒井さんを始め、たくさんのOB・OGの皆様がレース運営に携わってくださいました。何ヶ月以上前から今大会の準備をしてくださった皆様、誠に感謝申し上げます。また、会場にお越しくださった、岡野さんをはじめとするみなはや会の皆様、クルーザーでの応援や差し入れ等、誠にありがとうございました。選手も励みになったと思います。

両クラスとも目標を達成することはできませんでしたが、レベルの高い選手の方々と争えたことはとても大きな経験となりました。また、主にスタートやマーク回航、フリーでの課題が明らかとなりました。10月に行われるインカレ予選に向け、個人がそれぞれ目標を持ち、1つのチームとなって練習に励んで参ります。これからも応援のほど、よろしくお願いいたします。



8/20-25 全日本470級（江の島）・全日本スナイプ級（境港）ヨット選手権

470級（全91艇）																
順位	大学名	スキッパー/クルー	予選						決勝						得点	
			1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R		
74	名古屋	蜂須賀/山田	43	41	41	39	44	40	28	9	17	27	22	19	326	
75	名古屋	林/近藤	38	43	36	27	35	33	30	46	24	22	27	17	332	
90	名古屋	石原/岩田	40	38	47	36	40	41	46	46	46	46	46	46	471	
スナイプ級（全72艇）																
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R							得点		
29	名古屋	松島/松平	11	16	42	69	24							162		
52	名古屋	森田/柴田	73	22	67	21	49							232		

江の島ヨットハーバーにて開催された全日本選手権470選手権大会の結果を報告します。今大会は90艇を超えるビッグフリートとなり、全国のレベルの高い選手の方々と一緒に走れた貴重な大会となりました。また、パリオリンピックに出場された岡田奎樹選手や吉岡美帆選手のお話を聞く機会もあり、大変貴重な経験をすることができました。今大会はオーバーコンディションでのレースがほとんどであり、周りとの帆走力の差やスタートのハンドリングなどの技術面に加え、ビッグフリートでの戦い方に大変苦戦した大会となりました。1上で良い順位を取ってもそこからずるずると落ちていく展開が多く、たくさんの課題が見つかった大会となりました。また、大会後にじゃんけん大会が行われ、名大の蜂須賀が優勝しスピンドルをいただきました。



岡田奎樹選手と



吉岡美帆選手と

9/5-8 全日本学生ヨット個人選手権 (海陽 YH)

470級 (全55艇)										
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R 得点
1	日本		9	2	1	1	5	12	2	31
2	早稲田		1	3	5	14	4	6	1	26 34
3	慶應		7	21	7	9	3	16	3	48
4	関学		56	5	4	5	6	10	7	11 48
5	広島		11	9	28	3	10	17	4	8 62
6	同志社		5	21	22	2	9	7	10	16 70

スナイプ級 (全55艇)										
順位	大学名	スキッパー/クルー	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R 得点
1	同志社		4	6	5	1	3	8	1	22 28
2	中央		11	3	1	5	1	13	8	6 35
3	早稲田		3	2	6	13	6	22	4	3 37
4	早稲田		8	1	2	9	27	3	2	19 44
5	早稲田		7	8	12	11	5	9	19	5 57
6	慶應		12	14	23	3	4	7	6	43 69

38	名古屋	林/近藤	37	35	37	33	56	29	35	18 224
46	名古屋	石原/岩田	44	49	48	49	40	34	43	35 293
47	名古屋	蜂須賀/山田	42	46	40	41	56	41	52	39 301

24	名古屋	森田/柴田	22	22	33	29	23	1	26	35 165
34	名古屋	鈴木/近藤	25	33	40	21	30	43	26	40 215
37	名古屋	松島/松平	37	35	43	41	37	41	12	18 223

今大会は微風から強風までの幅広い風域で予定通り8レース行うことができました。また、森田/柴田組は第6レースでトップホーンを鳴らすという快挙を成し遂げました。
ビッグフリートでの戦い方についてたくさん悩み、たくさんの発見を得られた大会になったのではないかと思います。



両クラスともインカレ出場に一歩及ばず、悔しい結果に終わってしまいました。今大会は2日とも風が非常に弱く不安定であり、ブローをつかめるかどうかで一気に順位が変わるレースとなりました。ノーレースとなったレースもありましたが、このようなコンディションの中で5レース消化することができ、とても良かったと思います。スナイプクラスは1日目の終了時点で1位の三重大と15点差ありましたが、2日目の1レースで1点差にまで迫る大接戦が繰り広げられました。

今大会で4年生が引退することになってしまいましたが、今大会で得られた反省点を活かし、来年は両クラスインカレ出場を果たしたいと思います。



10/5-6 秋季中部学生ヨット選手権大会：インカレ予選 (海陽 YH)

470級						
順位	大学名	1R	2R	3R	4R	5R 合計
1	名工	23	7	10	10	6 56
2	名古屋	20	10	4	2	6
		3	3	1	4	5 89
		5	6	6	5	9
3	愛工	27	36	32	33	30 158
4	名城	30	32	38	37	33 170
5	愛知	30	52	37	38	44 201
6	東海	60	45	45	47	48 245
7	愛学	64	64	64	64	56 312

スナイプ級						
順位	大学名	1R	2R	3R	4R	5R 合計
1	三重	17	11	19	25	24 96
2	名古屋	5	9	10	11	2
		2	5	2	1	1 97
		11	17	6	8	7
3	名工	20	22	18	20	26 106
4	名城	23	19	23	18	29 112
5	南山	44	47	45	45	44 225
6	愛工科	55	50	52	52	50 259

総合	
順位	大学名 得点
1	名工 162
2	名古屋 186
3	名城 282

2017 年活動再開後の成績

年	主将	名阪戦				七大会				中部インカレ			全日本インカレ			
		開催地	470	ｽﾀｲﾌﾟ	総合	開催地	470	ｽﾀｲﾌﾟ	総合	470	ｽﾀｲﾌﾟ	総合	開催地	470	ｽﾀｲﾌﾟ	総合
2017	田中将智	名古屋	-	-	-	名古屋→九州	-	-	-	-	-	-	福井	-	-	-
2018	田中将智	大阪	-	-	-	北海道	-	-	-	-	4/5	-	蒲郡	-	-	-
2019	田中将智	名古屋	-	-	-	九州	7	7	7	2/6	4/5	1/3	西宮	-	-	-
2020	田中将智	大阪	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	大阪	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	3/5	4/5	2/3	和歌山	-	-	-
2021	三浦裕玖	名古屋	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	京都	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	ｺﾅﾅ	2/5	3/5	2/3	蒲郡	22/24	-	-
2022	吉野花梨	大阪	2	1	2	東北	7	7	7	2/5	3/5	1/3	大津	-	-	-
2023	荒島聡太	名古屋	2	2	2	東京	7	7	7	2/6	1/5	2/3	福岡	-	13/24	-
2024	松島良太	大阪	2	2	2	名古屋	6	4	5	2/7	2/6	2/3	江の島	-	-	-
2025	杉森 光	名古屋				北海道							江の島			

以上、文・写真：広報2年山崎・1年棟田

活動報告まとめ

470 クラス (リーダー 林 小夏)

【2024 年の反省】

6 月の個人戦予選、7 月の中部 470 予選は名工大よりも成績がよかったが、10 月のインカレ予選では負けてしまった。原因は、①名工大の方が団体での戦い方について理解していたこと、②夏からの伸びしろがあまりなかったこと（低速、コース引き、スタート技術など）。来年は練習メニューを見直し、団体戦に向けた考え方を身に付けていく必要がある。

【2025 年に向けて】

全日本インカレ出場を目標にボートスピードだけでなく、戦術的な面も磨く。そのために①団体戦に向けての実践的な練習を行う、②全員とコミュニケーションを積極的にとる、③こだわりを持った艇の整備を行う、④次の代を意識した後輩への指導を行う。

スナイプクラス (リーダー 柴田 海)

【2024 年の反省】

6 月までは個人の實力面ではインカレ出場できるレベルに仕上がっていたが、インカレ予選では実力以上に団体戦の戦い方ができていなかったためにインカレ出場できなかった。1 番艇が 3 番艇を助ける動きができていない（各々の動きの統制ができていない）。実力があつたとしても大会に合わせた戦い方をメンバー全員で研究し、それを引き継いでいく必要がある。

【2025 年に向けて】

全日本インカレ出場を目標に全艇が前を走る實力をつけ、戦略で勝利する。そのために①全風域での安定的なボートスピードを磨く、②個人の力はもちろん、団体としての戦い方を考える、③メンバー全員がレースを意識した練習をする、④次の代を意識した後輩への指導を行う。

会計報告 (会計 岩田 明日翔)

【2024 年の決算】

収入 310 万円、支出 320 万円、収支▲10 万円、不足分は繰越金から充当。(OB 会からの支援は除く)
Giving Campaign で頂いた寄附金 71,200 円

【2025 年の予算】

収入 270 万円、支出 290 万円、収支▲20 万円、不足分は部バイトで補う予定。

※部費：8 千円/月、オフ貯金：3 年 5 万円、2 年 4 万円、1 年 3 万円、で試算

新歓報告 (主将 杉森 光)

【2024 年の反省】

当初、新入部員は 12 人入部したが、結局 6 人 (男 5 女 1) しか残らなかった。辞めてしまった原因は、入部前と入部後でギャップがあったこと (活動頻度や金銭事情等) と、新入部員の中で退部する雰囲気を作ってしまったこと。

【2025 年に向けて】

新入部員を 15 人定着させるため、より多く確保し、できるだけ辞めさせないようにする。動き出しを早くし、試乗会以外の新歓を増やす。また、送迎などのアフターフォローを厚くする一方、兼部、活動頻度、部費などの条件をはっきり新入部員に伝える。

新艇・レスキューボート等 購入計画

会長 岡野 悟

監督 田中将智

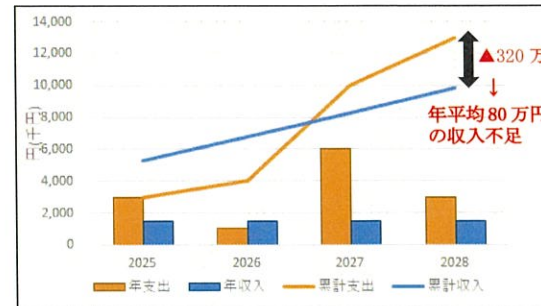
昨年、レスキューボートの購入を主目的に名古屋大学特定基金ヨット部運営支援事業を設立いたしました。多数の OB・OG 諸氏から寄附を頂きましたことをこの場を借り御礼申し上げます (2/15 時点で 194 万)。しかしながら、未だ目標には達せず、現時点でレスキューボートの購入には至っておりません。一方、両クラスインカレ出場を目標として活動している中、名大艇の老朽化が予選突破の大きな障害の一つになってきております。現レスキュー艇「みなはや」のエンジンを増強したこともあり、購入優先度は、レスキューボートよりも 470 の新艇の方が上がってきております。

他大学との 470 艇番の比較

国立七大学						中部水域の大学					
名古屋	4726	4578	4375	4173	3875	名古屋	4726	4578	4375	4173	3875
北海道	4881	4781	4632	4557	4298	名工	4822	4803	4770	4769	4704
東北	4875	4830	4782	4536	4535	愛知	4885	4562	4432	4183	4020
東京	4829	4791	4692	4579	4452	名城	4635	4329	4217	4213	4176
京都	4806	4799	4685	4489	4352	※赤字は名大の 1 番艇より新しい艇					
大阪	4825	4780	4708	4664	4663	名大の艇は他大学の艇よりかなり古い!!					
九州	4832	4814	4717	4597	4556						

繰越金・基金+現在の収入 (年間 150 万円) をベースに 4 年後を試算してみた結果 (下表)、2028 年時点で▲320 万円の不足となり、今後毎年 80 万円の更なる収入の上積みが必要となります。そのため、まずは会費徴収の強化を図っていきたいと考えております。OB・OG 諸氏のご協力をお願いいたします。

		優先度	金額(千円)	2024	2025	2026	2027	2028	
セール	470	2	1,000	○		○		○	←消耗が激しいため、隔年が必要
	SNIP		1,000		○(現役)		○		
マスト	470		350	○					←2025 年 470 新艇は必須 ←3 年後はスナイプ ←レスキューボート早期購入を実現したい
	SNIP		250	○					
船	470	1	3,000		○				
	SNIP	3	2,000					○	
レスキュー艇		4	5,000				○		



【安定した財源確保の対策】

- ① みなはや会からの徴収額の増
 - ・会費未納者への催促強化
 - ・複数回の寄附依頼
- ② 安定財源の確保
 - ・スポンサーの確保
- ③ 臨時的財源
 - ・保護者からの寄附 (基金)
 - ・大学への援助要請

4年生引退ブログ

#1 松平晋之介

スナイプクルーの松平と申します。引退ブログです。まずはこの4年間活動を支えてくださった多くの方々に感謝を数え切れないくらいお世話になりました。本当にありがとうございました。引退ブログ、何を書くか色々悩みましたが、これまでの日々をざっくり振り返りつつ、今の仲間みんなに一言ずつ残しておこうと思います。*写真略

1年生・こんなにいた同期、みんな何してるかな 写真①

- ・結局これがいちばんの思い出、クリスマスに2人で死にかけた、生きてよかった*

2年生・初の個人戦、大敗*

- ・海陽レガッタで逆走、ボケてるってレベルじゃねえ*

3年生・ようわからんのも入部してきた*

- ・江ノ島スナイプ、ヨット人生でいちばんボロ負けしたレース
今年江ノ島でリベンジする予定だったのに悔しい*
- ・団体戦予選名大1.2.3、震えた 写真②
- ・845が前だから嫌いな写真*、845より前だから好きな写真*
- ・津で大敗した新人戦、悔しかった*

4年生・個人戦2位、いちばん緊張したし、いちばん前週に思考を重ねたレース、南東の松平になった*

- ・七大戦名大ヨット部全世代集合。運営は大変だったけどたのしかった*
- ・全日本スナイプ、日焼け対策、結局全然してたけど焼けたな
積み込みで左睾丸を負傷、全治1ヶ月、マジで痛かった 写真③
- ・団戦予選は2位、あと1点で敗北。3回くらい泣いてた*

いま思い返せば悔しいときの写真ばかりでした

さて、『ジブを引く』『ハイクアウト出る』『両方』やらなくっちゃあならないのが「クルー」のつらいところ

皆様へ

<増井>あすかをよろしくね

<かとしん>この間ジムで遭遇したね、筋トレがんばろう

<棟田>まじでしっかりしてる、朝型生活尊敬、見習います

<しゅんのすけ>この間図書館で遭遇したね、勉強がんばろう

<マネのみんな>ななちゃん&カシママ&タッキー&まきちゃん&かなこちゃん、強いチームには優れたマネージャーが不可欠です。みなはあの操縦や家事雑用なんてマネージャーの仕事じゃないぜ。そんなもんは暇そうなやつにやらせときゃいいんだ。もっとすべきことは他にある。ヨット部の中心、屋台骨、縁の下の力持ちとして、チームを支え、作り上げて

<ししよ>動作と将棋うまい

<みわこちゃん>勉強との両立大変だけどマジで頑張ってるほしい、服好きな後輩入ってきてくれて嬉しかった

<かなちゃん>色々大変な目にあいがちだけど、まあそれも楽しんでほしい

<SK>また飲みにいこう！かわいい後輩

<はちすか>俺は午前中起きられないけど、起きたらいいこうぜ、どこにとは言わないけど

<ゆうか>近藤を頼む

<さこちゃん>ボブが似合う

<柴田>インカレいけなくてごめん、来年は絶対行ってるほしい、とても責任を感じてるので練習にはどんどん呼んでください。とくに冬！あと、就活頑張ってるサングラスとゴールドチェーンが似合う超flexな男になれよ



写真①



写真②



写真③

<キング>ブラック学科に教職に部活、マジで頑張ってるえらすぎる素直に尊敬、えぐい、えぐすぎる。背も高いし憧れ

<ひかる>主将色々大変だろうけど頑張ってるほしい、あとひろきのお世話もたのむ、身長180あるし憧れ

<なおや>グミは勝手に食われるけど乗って一番楽しかった、28925で天下ってほしい。

なあってい、なんでもできるし頼もしい、背も高いし憧れ、来年の470は中部では敵なしだろうから、

全国で前走ってほしい

<はるま>朝起きるのがって難しいよな

<コンドウ>何年後かわからんけど、卒業しても東京きたらあそぼうぜ

<あすか>変わった子だけど、とてもやさしくて頼りになる。もう最上級生だし、溺れんなよ

<ひろき>間違いなく名大スナイプの歴史上ダントツのセンスだった、次はめざせワールドセーラー

<せんせい>雑談がおもしろいペアでよかった、大人になっても変わらずに悪に徹して尖っていてほしい

<あいちゃん>またあそぼうねー

<やまだ>熱中症をつけてな

<しょうた>マジでいい奴

おわり。4年間ありがとうございました。

#2 森田裕基

お世話になっております。4年生の森田裕基です。まず初めに、監督、OB・OGの方々、ご支援ありがとうございました。4年間ヨットを続けられたのは皆様のご協力があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。引退ブログということで4年間で印象に残った出来事を3つ振り返っていきます。

まず一つ目は、「スピンを破って怒られる」です。2年生の5月ぐらいに山田とミッドランドに出ました。その日は10m/s オーバーのサバイバルコンディションでしたが、そこそこ良い順位だったこともあり、調子に乗って下りでスピンを上げたら沈しました。新しめの練習用スピンを使っていたのですが、L字の大穴を開けてしまいました。その日の夜、大暉先輩と光彦先輩に呼び出されて怒られました。これら以外にもちょくちょく船をぶつけていたりしたこともあり、「しばらくレースには出さない」とか言われた気がします。当時は絶望しましたが、今考えると損失額は10万円以上あっただろうし当然です笑。これ以来、大きく物を壊すことはなくなりました。余談ですが、2年になったばかりのペアでレースに出るというのは今と比較するとかなり危ない配艇です。しかし、部員が少なくてもうするしか無かったのだと思います。こういうところでも名大ヨット部がどんどん大きくなっているのを感じるし、部の成長過程に自分がその一員として関わったのはかなり良い経験でした。

二つ目は「2年秋に470からスナイプへ転向」です。後輩に経験者スキッパーが2人入ってきたこともあり、470のスキッパーが過多になってしまいました。その時の僕は5,6番手スキッパーだったので、470クルーになるかスナイプスキッパーになるかの選択肢がなく、スキッパーがやりたかったのでスナイプに行くことにしました。この決断はちょっと泣くぐらいには悲しいものでしたが、結果としてはスナイプに来てよかったです。技術的な面で得られた物が多く、良い成績も取れるようになりました。これからの部内でも誰かが転向しないといけない状況が出てくるかもしれませんが、とてもいい経験になるし自分のレベルアップに繋がるので、嫌がらずに挑戦してみてください。

三つ目は小戸インカレです。自分にとっては全国大会に出るのは初めてで強豪相手にどれぐらい通用するのかなど不安ばかりでした。しかし3レース目までは個別成績5位、チームとしても9位と想像以上に良い成績でとても驚きました。4レース目で叩いてしまい入賞には届きませんでしたが、自分たちの実力にかなり自信を持つことができました。小戸インカレに関してはレース以外にも、狭すぎる宿や、海に落ちた台車を頑張って引き上げた思い出、主将のせいで起きたインフルエンザの集団感染などの思い出もできました。

4年間は振り返るとキリがないのでこれぐらいで終わります。4年やっても全く飽きないぐらい僕はヨットが好きなのでこれからもたまに部活に行くと思います。そのときはよろしくお願いします。

＃3 山田祐貴

お世話になっております。4年生の山田悠貴です。はじめに、監督をはじめとするOBOGの方々、その他の関わってくれた方々、本当にありがとうございます。今回は4年間の各学年での思い出を書いていこうと思います。

1年生

当時は部員の数が少なかったので、多くの練習ができて動作の基本が身につきました。四年生の先輩達が引退した後は、自分がレースメンバーとなり、どんどんヨットが楽しかったです。

2年生

新入部員として経験者のスキッパーが入ってきてくれてすごく嬉しかった記憶があります。初めて同期のひろきと出たレースではスピンを破り、船を壊してしまいました。先輩達にすごく怒られました。当時は軽く考えていたんですけど、今だと先輩の気持ちがよく分かります。個人戦予選は荒島先輩と出て、大逆転勝利で本戦出場を決めて、すごく嬉しかったです。この時に練習用セールで出場していたんですけど、今でもおかしいことだなあと思っています。

3年生

初めて後輩とペアを組んでレースに出ました。今まで先輩に甘えて色々やってもらっていたんだと思い、改めて上級生として頑張っていこうと思いました。はじめの新人戦では安定した成績が出せず、すごく悔しかったです。その悔しさをバネにして練習を頑張った結果、個人戦予選では1位を取ることができました。努力が実って嬉しかったです。この時の小夏帆走力がレベチすぎて驚かされた記憶があります。あとトップホーンをめっちゃ聞かせてくれました。しかし、団体戦では名工にフルボッコにされてすごく悔しかったです。

4年生

クラスリーダーで大変だった記憶が多いです。まず最初に七大戦へ向けての準備のために練習艇をしっかりと整備しないといけませんでした。この時に整備項目が多すぎて、普段からしっかりと整備することの大切さを身に沁みて感じました。オフ期間も毎週整備のために艇庫に行っていました。夏休みは院試や団戦に向けてピリピリしていたことが多かったと思います。470の4年生が自分しかいなくてそれも原因だったかもしれないです。こんな自分でも後輩がしっかりとついてきてくれてすごくありがたかったです。特にしゅんとあすかには整備とか色々な面でよく助けられました。あと全日本からペアとして乗っていた生意気な蜂須賀君も練習内容とかの話をする時にすごく助かったし、団戦では艇速お化けでめっちゃ助かりました。

今年470で引退するのは自分だけで、団戦のメンバーがほとんど残ります。今年は負けて悔しい思いをしたけど、その悔しさをバネにして協力し合って後輩達には来年絶対にインカレに行つて欲しいです。4年間を振り返って、苦しかったこともあったけど、楽しかった記憶の方が多く、ヨット部に入って本当に良かったです。

＃4 鈴木笙太

お世話になっております。4年生の鈴木笙太です。まず初めに、監督、OB・OGの方々、ご支援ありがとうございます。4年間ヨットを続けられたのは皆様のご協力があったからこそだと思います。本当にありがとうございます。今回は引退ブログということで今までヨット人生を振り返っていこうかなと思っています。

まず、ヨットを始めるきっかけとなった新歓について話したいと思います。自分が大学に入ってヨットを始めるなんて新歓に行くまでは思ってもみなかったのですが先輩の押しとヨットの面白さに負けてヨット部に入部することを決意しました。今思えば本当にヨット部に入部して良かったと心から思っています。ヨットというスポーツを始めるきっかけとなった新歓は忘れられない出来事でこれからも新歓を通じていろんなセイラーが生まれてくれることを願っています。ヨットというスポーツは経験者が少なく新歓が大変だと思うのですが来年からもヨット部全員で新歓を頑張っていきたいと思います。

次はヨットレースそのものについて話していきたいと思います。自分はお世辞にもヨットが速いわけではなく悔しくやるせないレースばかりが思い出されます。特にクラスリーダーになってからは前を走れない葛藤から1年間ヨットへのプレッシャーと焦りに包まれていたセーリング人生でした。毎レース、スタートシークエンスがなったときからの時間は本当に逃げ出したい気持ちでいっぱいでした。それでもヨットレースをやめずに戦いたいと思ってていたのはヨットが好きで名大ヨット部が大好きだからでした。最後まで実力不足な部分ばかりのヨットレースだったけど名大ヨット部として4年走ってきて本当に良かったと思っています。またスナイプチームのみんなにはずっと支えてもらって前を走ってきてもらって数え切れないほどの勇気をもらいました。本当にありがとうございます。

最後にヨット部について語りたいと思います。ヨットは楽しいことも辛いこともたくさんあったけど、本当にヨット部に入つて良かったと思っています。それはかけがえのない仲間恵まれてきたからです。1年生からヨットを始めるきっかけをくれて、教えてくださった先輩、頼りないリーダーを支えてくれた後輩、先輩なのにずっと前を走れず余裕のない俺を支えてくれたペア、一緒に走りきった同期、ヨットで関わったすべての人が本当に最高でした。本当に感謝しかないです。ヨットを始めてヨットをやりきって最高でした。まじでヨットとヨット部が大好きです。4年間本当にありがとうございます。

＃5 松島良太

お世話になっておりました。元主将の松島です。この度は10月の団体選に負けてしまい引退ブログを早く書くことになり、あまり何を書けばいいのかピンときてませんが書きます。

負けて約一ヶ月ほど経ちましたがまだ気持ちがふわふわしており、悔しさや、虚しさ、申し訳なさなどをふと感じ苦虫を噛み締める思いです。団体戦やこの一年を振り返り色々反省すべきことやこうしてれば良かったなどたくさん思うことはありますがもうヨット部で無くなってしまったためこの思いを消化することができずとても悲しいです。

このまま色々なことを書いても暗い内容になってしまうのでもう少し明るい内容を書きます。このぐちゃぐちゃの気持ちのなかでも色々な人への感謝は確かにあります。ずっと自分に支援してくれた両親、ヨットだけでなく部自体を支えていただいた小野内さんやまささん岡野さんなどのOB・OGの方々、去年一緒にインカレに行くことができた木村先輩や舞子先輩、ずっと一緒にのつてくれいい景色を見してくれた松平や一緒に戦い、サポートしてくれた同期や後輩たち他にもいろいろな方々がいて自分は四年間ヨットができ本当に感謝しております。ありがとうございます。これらの人たちのことを考えるとインカレに行けなかった申し訳なさで一杯ですが、少しでも今の現役、そして未来の現役をサポートし、ヨット部に還元できるように行きたいと思っています。

今後は自分のヨット買ったり色々な大会などに出場したりとたくさんありますがとりあえずまだヨットをしたいという気持ちは全然あるのでこれからも死なない程度にヨットをしたいと思います。あとヨット部に還元がしたいという気持ちが強すぎて現役に嫌われるようなOBにならないようにそれだけは気をつけたいと思います。

最後にOBとして遺言を残して終わろうと思います。それは名古屋大学ヨット部を常に変わり続ける部活にしてください。良くも悪くも名大ヨット部には伸び代が全然あると思います。自分の代でもヨット部を少しでも良くしようと意識して実際良くなったか悪化したかは正直わかりませんが昨年とは色々変わった側面があると思います。そこからどうするかは現役の人たちに任せますが現状に満足せず上級生、下級生関係なくヨット部を変えていきい部活にしてほしいです。人手などが必要になったら教えてください。たくさん連れてきます。技術面や何か困ったら呼んでくれれば行きます。では。

現役部員紹介（29名）

広報2年山崎美和子・1年棟田琉太郎

①役職 ②学部学科学年 ③出身高校 ④クラス

4年生(卒部生) 6名

松島 良太（まつしま りょうた）

①元主将 ②工学部化学生命工学科4年 ③豊田西高校（愛知）④スナイブ
先輩後輩問わず多くの部員から「先生」と呼ばれている元主将。その名の通り、下級生からはクルー、スキッパーにかかわらず頼りにされるスナイブスキッパーである。主将時代にはリーダーシップを発揮し、部を率いる真面目な一面もあれば、そのギリギリの発言で笑いをかささっている姿もしばしば。朝の起床時間には全くアラームを響かせることなく起床し、いつも朝のラジオ体操の音源を流してくれる時間の番人であり、艇庫では数少ない朝から動ける人間の一人である。たまにとんでもないやらかしをするが、それも愛嬌といえる…のだろうか。



山田 悠貴（やまだ ゆうき）

①元470リーダー ②農学部資源生物科学科4年 ③多治見北高校（岐阜）④470
一見とても怖そうに見える元470リーダー。しかし、ひとたび話せば初見の怖さなど忘れてしまう頼りがいを見せるナイスガイである。海の上ではその頼もしさを遺憾なく発揮し、問題児だらけの470チームをまとめ上げる。我がヨット部に山田軍団とよばれる軍団を誕生させた張本人である。が、彼の引退後に山田軍団がどうなっているのか、おそらく団員たちにもわかっていない。山田軍団の二代目団長が現れるのか、それとも新たな軍団が誕生するのか、今後の動向が注目される。



鈴木 笙太（すずき しょうた）

①元スナイブリーダー ②農学部資源生物科学科4年 ③瑞陵高校（愛知）④スナイブ
話し始めると止まることを知らないスナイブリーダー。海の上では強風下でもたくましい走りを見せてくれるかつこよさもある。カラフルなものを身に着ける習性があるので海上でカラフルなスナイブスキッパーを見つけたらきっと彼だろう。ヨット部随一の器の大きさを見せる彼は下級生にも元気にかつ優しく接してくれる。艇庫内ではさまざまなあだ名で呼ばれていることも多いのだが、新入生たちはそのほとんどの由来を知らず、このままあだ名だけが受け継がれていくのかもしれない。「大学の単位は4年間かけて計画的にとればいい」と下級生に言い聞かせる姿が時折見受けられ、「確かに」と納得してしまいそうだが注意しなければならない。



高橋 愛生（たかはし あい）

①元主務 ②医学部保健学科放射線科学専攻4年 ③高蔵寺高校（愛知）④470
ヨットの上でも陸でのミーティングでも色々なことを丁寧に教えてくれることから下級生から絶大な信頼を誇る470スキッパー。現スキッパーの中では唯一の未経験者でありながらレースでは丁寧な走らせ方で前に出ていく。ミーティング中にいつも美味しそうなスナック菓子を食べている姿が目撃され、その影響か470ミーティングでは大体誰かがお菓子を食べている。部の仕事もこなし、下級生のことをよく見ていてくれていて、さらに褒め上手な彼女はまさに艇庫のアイドルであろう。



松平 晋之介（まつだいら しんのすけ）

①元広報 ②経済学部4年 ③竜ヶ崎第一高校（茨城）④スナイブ
海上でパワフルなハイクアウトと華麗な飛びタックを見せる最高級クルー。それでいてコミュニケーションも高く艇庫のなかで出回る面白い話題は彼から出てきたものが多い。クルーでありながらスキッパーとして下級生と乗った時にはクルー視点での確かなアドバイスをしてくれるため、下級生から厚い信頼がある。基本的には海上で素顔をさらさないタイプのセーラーなので、彼の動作と船とスキッパーから、誰が乗っているかを判断することをお勧めする。



森田 裕基（もりた ひろき）

①元会計・備品 ②工学部物理工学科4年 ③暁高校（三重）④スナイブ
「軽風の森田」の名を冠する軽風最強のスナイブスキッパー。誰を乗せても安定的な走りを見せ、軽風シリーズの彼の活躍は全国レベルでも目を見張るものがある。そんな彼とともに乗るクルーは彼の実績から緊張してしまうがそれすら彼にとっては関係ない圧倒的な走りを見せる。艇庫内で発する言葉の少なさは部内トップクラスであるが、彼がなかなか口を開かないのはもしかすると単に人見知りをしているだけなのかもしれない。



3年生 9名

杉森 光（すぎもり ひかる）

①主将 ②工学部物理工学科3年 ③焼津中央高校（静岡）④スナイブ
新主将として問題児だらけの我がヨット部をまとめ上げる、しっかり者のスナイブスキッパー。朝の起床時間にはまだアラームを鳴らしてしまうが、いずれ先代主将のように音もなく起床する日が来るかもしれない。よく「威厳がない」といわれる彼が新主将としての役割をしっかりとこなしていくため威厳が出てくるのもうすぐだろう。しかし、艇庫で行われるじゃんけんにはことごとく負けているため威厳を出すための第一歩はじゃんけんのトレーニングかもしれない。



林 小夏（はやし こなつ）

①470リーダー ②工学部マテリアル工学科3年 ③半田高校（愛知）④470
技術・人柄・仕事の速さ、そのどれをとってもトップクラスの470リーダー。高校からすさまじい経歴を持つ彼女が大学でもその実力を発揮し大活躍している。先代リーダーから問題児だらけの470チームを受け継ぎ、まとめ上げようと日々奔走している。いつも穏やかで優しい彼女は皆からの人望も厚い。しかし、海上では圧倒的な技術でぐんぐん前に出るかつこよさも兼ね備えている。そんな彼女は以前ボソッと「メインシートなんて誰でも引ける」と言い放った。強風ではメインシートが引けないというスキッパーは彼女を目指して頑張っていってほしい。



柴田 海（しばた うみ）

①スナイブリーダー ②法学部3年 ③大宮開成高校（埼玉）④スナイブ
2年生から1番艇のクルーを務め、ついにスナイブリーダーとなった、たくましいスナイブクルー。スナイブチームの中でも恵まれた体格を持ち、そのタフな精神でどんな強風だろうとフルハイクでヒールを起こしに行く彼は、冬場のレスキューの安心感が尋常ではない。加えて後輩の面倒見もいい彼は下級生にとってまさに理想のセーラーであろう。しかし、その真面目さゆえに追いコンの場でも強風セーリングについての話題が出てしまうのであった…。





石原 治真 (いしはら はるま)

①エントリー ②文学部日本文学科3年 ③半田高校(愛知)④470

正真正銘実力派な470スキッパー。高校時代からのヨット経験をいかして1年生の時の活躍も素晴らしい部員。強風でも恐れを知らない彼は今日もたくましく海の上をかつ飛ばす。さらに彼はクルーもスキッパーも両方こなすオールマイティな一面も見せる。一見クールで爽やかな雰囲気醸しつつ優しい上にノリも良い、なんとも好青年な彼だが、陸では470らしい「自由」な言動で暴れまわっているときもあるようだ。夏でも冬でも身に着けているRONSTANのベースレイヤーは彼のトレードマークとも言えるだろう。



岩田 明日翔 (いわた あすか)

①会計・備品 ②工学部機械・航空宇宙工学科3年 ③岐阜高校(岐阜)④470

470の長身クルー。1年生のお世話をよくやってくれていて、その優しさから下級生からの人望は厚い。艇庫内では上級生からも下級生からもよく名前を呼ばれており、求められている。彼のことを「あすかさん」と呼ぶ部員の中には「あすか(↓)さん」(サラダと同じイントネーション)と呼ぶ人と「あすか(↑)」(さかなと同じイントネーション)と呼ぶ人がいるが彼は必ず聞き取って見せる。何かと面倒なことでも優しい彼はぶつぶつ言いつつも顔を出し、手伝ってくれることも多い。



川上 直也 (かわかみ なおや)

①エントリー ②法学部3年 ③明和高校(愛知)④スナイブ

ヨット部随一のヨット愛を持つスナイブスキッパーである彼が見つからないとき、だいたいヨットの近くに行けばその姿を発見できる。とりわけ艇体の整備や修理に関するごとは彼にお任せ。そんな彼はみなはやの運転技術も高く、どんな海面でも彼の運転なら安心である…のだが彼に練習動画の撮影を任せるとみなはやの船首に立ち上がって動画を撮ろうとするので運転している側からすると全く安心できない。



近藤 駿 (こんどう しゅん)

①雑務・副将 ②経済学部3年 ③東京工業大学附属高校(東京)④470

470チーム随一の長身×重量級クルー。その恵まれた体格と高度な技術で周りを圧倒する彼はひとたび陸に戻るとただの面白いお兄さんである。強風下で彼と乗った時の安心感はすさまじく、下級生から絶大な信頼を得ている。最近雑務から副将に昇進したが、これまでゴミまといリーダーとして活躍してきた彼の後継を見つけることが艇庫の環境維持のための急務だろう。



近藤 美咲 (こんどう みさき)

①体育会 ②農学部応用生命工学科3年 ③磐田南高校(静岡)④スナイブ

ほのぼのした雰囲気であまりを癒すスナイブクルー。しかし海の上ではその長身を生かし、高い技術でスキッパーを支える実力者である。癒し系であるだけでなく頼りがいのある彼女は下級生の面倒見もよく、艇庫での人気は随一である。冬場になると完全防寒装備で顔まで隠して海に出るため、海上では癒し系よりも実力派のイメージが強くなるが、陸に戻るといつもの彼女である。



松井 花菜子 (まつい かなこ)

①マネージャー ②文学部3年 ③一宮高校(愛知)

最上級生マネージャーとなった彼女。後輩マネージャーが新3年に一人、新2年に二人とマネージャーが増えたため、彼女のこれまでのマネージャー力が後輩に引き継がれ新たな体制が築かれることに期待したい。就活との両立で忙しいようにしている彼女だが、持ち前のタフさで乗り切ることだろう。

2年生 8名



大迫 萌景 (おおさこ ほのか)

①会計・備品 ②文学部日本史学科2年 ③松本秀峰中等教育学校(長野)④470

問題児だらけの470チームでは珍しい、穏やかでしっかり者のスキッパー。彼女は誰よりも深い教養とその穏やかさの端々に育ちの良さを醸し出す…のだが時折ぴっくりするくらい辛い言葉も放つ。そんなギャップも彼女の魅力なのだろう。最近ではメキメキ実力をつけ、特に軽風域ではその穏やかさを体現したかのような走りで見ついたら前にいることもしばしば。加えて向上心も持ち合わせている彼女はこれからさらに実力をつけていこう。470の秩序は今日も彼女によって守られている…。



奥村 健太 (おくむら けんた)

①主務 ②理学部2年 ③世田谷学園高校(東京)④スナイブ

抜きんでた知識とガッツでどんな風でも海に出ていくスナイブスキッパー。クルーからスキッパーに転向した彼は転向して日が浅いとは思えないほどいい走りをする。部員からの人気も高く、艇庫において彼の名前を聞かない日はないとさえいえる。艇庫の筋トレリーダーを務める彼は今日も部員の身体能力向上に励んでいる。みんなに「師匠」と呼ばれる彼だが、本当の名前を新入生が知るのにはかなりの時間を要し、本名を知った後でさえ、あまりピンとこない。



北川 峻也 (きたがわ しゅんや)

①学連 ②農学部資源生物工学科2年 ③東京都市大学付属高校(東京)④スナイブ

いかにもシティーボーイといった感じのスナイブクルー。シティーボーイであり学歴厨である彼の話を聞いているとある意味で大学に詳しくなれるかもしれない。彼はそのユニシャルをとって(だと考えられるが)「SK」と呼ばれている。とうかそれ以外の呼び名を聞いたことがない。そんな彼はいつも元気にヨットに乗っており、海に出る際には宇宙のような模様の上着を着ているがあれはいったい何なのだろうか。



瀧日 康太郎 (たきひ こうたろう)

①マネージャー ②医学部保健学科2年 ③名古屋高校(愛知)

電車好きなマネージャー。誰よりも穏やかで話しやすい雰囲気を持つ。省エネタイプなのかあまり口数は多くないように感じるがしゃべるときは結構しゃべる。同期の中では一番早く小型船舶の免許を取得したり、もちろん運転免許も持っている。艇庫まで車で来ようになったりや乗り物スキルが高い。一年生のマネージャーと仲が良く、よく話しているところが目撃される。艇庫村にそっくりさんがいるようで時々見間違えることがある。

中島 加奈 (なかじま かな)

①エントリー ②農学部資源生物科学科1年 ③静岡高校(静岡)④スナイプ
いつもニコニコ明るいスナイプクルー。彼女の周りにいるとこちらまで楽しい気持ちになってくる。チャームポイントである蛍光イエローのライフジャケットは会場で彼女を見つけたのに非常に便利である。海の上でも元気にスナイプに乗り、陸でも海でもその素敵な笑顔が輝かせる彼女は新歓で緊張している新入生の緊張をほぐす切り札でもある。



蜂須賀 啓介 (はちすか けいすけ)

①エントリー ②理学部2年 ③菊里高校(愛知)④470
二年生で唯一の経験者スキッパーである彼はその高い実力を発揮し、上級生と肩を並べる力強い走りをする。初対面ではそのコミュ力の高さなどからチャライ印象を受けるが、実際はそんなことはなくヨットも大学も要領よくこなすしっかり者である。後輩の面倒見もいい彼は下級生のお兄さんの立ち位置で厚い信頼を受ける。ヨット部の中でイメージと GPA が合っていない代表例である。ヨットの技術に関する知識が豊富で聞いたら十返ってくるタイプの人間である。



古川 侑果 (ふるかわ ゆうか)

①会計・備品 ②経済学部2年 ③春日井高校(愛知)④470
将来を期待される470クルー。機敏な動作で船の上を駆ける彼女は今後のさらなる成長が期待されている。陸に帰ればそのほんわかした雰囲気場で場を和ませ、一方で部の仕事はしっかりこなす彼女はとても頼りがいのある先輩でもある。また、ランニングや筋トレでも最後までしっかりやりきるタフさを持つなど様々な魅力を持つ彼女であるが、よくものをなくすお茶目な一面もある。そこまで含めて「様々な」魅力であるといえるかもしれない。



山崎 美和子 (やまざき みわこ)

①広報 ②工学部環境土木・建築学科2年 ③長野高校(長野)④スナイプ
気遣いと面倒見がトップクラスの姉御肌なスナイプスキッパー。多忙な大学生活を送りながらも、ヨットに真剣に取り組み、さらに広報の仕事まで完ぺきにこなしてしまう彼女はまさに「すごい」の一言に尽きる人物である。彼女は機会があるとカメラを持ってきてヨット部員の写真を撮ってくれるが、彼女の撮った写真に写る部員は生き生きとしていていつもより三割増しで素敵に見える。



1年生 6名

鹿島 悠矢 (かしま ゆうや)

①マネージャー ②法学部1年 ③一宮高校(愛知)
問題児だらけのヨット部に現れたママである。皿を片付けられない部員に注意し、練習から帰ってくる部員をおいしい料理とともに出迎える姿こそ、彼が「かしママ」と呼ばれる所以であろう。いつも艇庫飯を作るための材料を抱えて電車で来る彼だが、本人は車の免許を持っている。なぜ車で来ないのかと問えば、「運転は怖いので完全自動運転車が登場してから運転席に座る」そうだ。



加藤 慎也 (かとう しんや)

①主務 ②工学部機械航空宇宙学科1年 ③沼津東高校(静岡)④スナイプ
1年生随一の重量級スナイプクルー。もともと水泳部だった彼は大学でも自らは離れられないようだ。大学近くの家から自転車で艇庫まで来たり、みんなが厚着している朝の艦装時にも半袖短パンであつたりする彼は、言い表せない「強さ」を感じさせる。海の上ではその体格を生かして力強い動作をする彼は、強風でこそ真価を発揮するクルーになるだろう。



鈴木 駿之介 (すずき しゅんのすけ)

①エントリー ②工学部化学生命工学科1年 ③半田高校(愛知)④470
高校のヨット部のブラック加減を見ながら大学でヨット部に入部した変わり者。一見クールそうな彼だが、ツボは浅いようで結構笑う。海上に出ると俊敏な動きで船上を駆けまわり、丁寧な動作で課1年生らしからぬ技術を見せる。ヨットのために増量中であるが、もらったライフジャケットが60kgまでを対象としているため増量するとライフジャケットを失ってしまうというジレンマに陥っている。ぜひ、そのライフジャケットを増量が必要な人に託して欲しい。



富田 奈七 (とみた なな)

①マネージャー ②工学部エネルギー理工学科1年 ③東海南高校(愛知)
我がヨット部1年生の紅一点。快活でいつも笑っている彼女は周囲の人間を元気にさせる力を持っている。そんな彼女は艇庫まで自転車で行ってこくこともあり、たくましい一面も持つ。次の新歓では彼女の活躍こそが女子新入部員獲得のカギになるだろう。同期の男子部員たちにも彼女を見習ってコミュ力を高めて欲しい。



増井 一翔 (ますい かずと)

①エントリー②工学部環境土木・建築学科1年③奈良学園登美ヶ丘高校(奈良)④スナイプ
一年生とは思えないガッツをもつスナイプクルー。その圧倒的な向上心により現在メキメキと実力を伸ばしている。体力づくりのランニングでは上級生をおいていくほどの速さと体力をもち、そんな彼の身体能力は彼の成長スピードの大きな理由だろう。関西出身の彼からは真の関西弁を聞くことができる。ぜひ名古屋弁に染まらず生きて欲しい。一見寡黙そうに見えるが、寡黙そうだけで意外と口数は多い。早々に艇庫の雰囲気染まり、整理整頓ができなくなっていることが心配である。



棟田 琉太郎 (むねた りゅうたろう)

①広報 ②法学部1年 ③半田高校(愛知)④470
一年生唯一の経験者スキッパーである彼は、470チームの先輩スキッパーたちに追いつけるように日々努力している。自分専用のメインシートを高校から使い続けている彼は、いつも船のそばでメインシートを付け替えている姿が目撃される。普段からよく笑う彼だが、写真に写るときの笑顔がいつも同じような感じなので「営業スマイル」といわれることもあるようだ。



みなはや会活動報告

事務局 野中知秀

(敬称略)

1/9 定例役員会(その後、月1回のペースで全12回開催)

3/15 機関誌みなはや56号発行

6/30 中部OBレース(海陽YH)

前夜レセプション参加: S59 岡野 H11 南原 R6 木村

レース参加: S57 服部 R6 木村 クルー現役、レース結果 11 チーム中7位

7/13 七大戦OBレース、レセプションおよび懇親会(名古屋大学主催:海陽YH) 詳細は次頁

レース・レセプション運営: R3 酒井(レース委員長)およびR3~R6 卒部の若手20人

OBレース参加: H23 小野内 R23 酒見 H24 杉本 H24 西浦、レース結果: 7 チーム中5位

観覧艇: ナルミ S52 中島

レセプション・懇親会参加:

S37 松林 S37 菰田 S38 村井(み) S40 都築 S42 松原 S43 大野 S43 立木 S44 森田

S44 千葉(由) S47 前田 S48 佐藤 S49 辻本 S51 奥村 S57 杉田 S59 河村 S59 岡野

S60 野中 S61 有尾 S61 大橋 S62 塚本 S62 中園 S62 戴押 S62 篠原 S63 石黒 H3 田中

H4 加藤 H5 石原 H5 伊藤 H5 千葉(勝) H8 古川 R5 吉野

10/10 みなはやゴルフ会

11/23 名城大学大学ヨット部75周年記念パーティー 出席: 岡野会長

11/24 みなはや会関東支部総会

12/7 大阪大学ヨット部90周年記念式典・祝賀会 出席: 岡野会長 石原副会長

1/18 みなはや会総会

中部OBレース成績表

順位	大学名	1R	2R	3R	合計
1	東海大学海洋学部	5	3	1	35
2	愛知大学	4	7	6	29
3	三重大学	21	10	5	60
4	愛知工業大学	12	5	13	63
5	名古屋工業大学	21	21	16	64
6	名城大学	1	9	12	65
7	名古屋大学	13	12	15	68
8	南山大学A	3	13	14	68
9	南山大学B	8	14	19	85
10	愛知学院大学	11	21	17	112
11	愛知学院大学歯学部	21	21	21	123

七大戦OBレース成績表

順位	大学名	1R	2R	合計
1	九州大学	2	15	19
2	京都大学	4	6	25
3	大阪大学	3	15	25
4	北海道大学	6.5	15	35.5
5	名古屋大学	8	8	40
6	東北大学	15	15	40
7	東京大学	5.5	6.5	42



名大OBセールナンバー1011・1015

名大主管七大戦報告(運営)

七大戦レース委員長 R3 酒井惟司

7年前(2017年)の七大戦は、現役不足(当時1年生2人のみ)により主管校の役割を果たせず、九大に代理で開催して頂きました。今回は現役も全学年揃い、実務運営が可能な若手OB・OGも揃っているため、現役と協力して大会を成功させるべく準備をしてきました。現役への負担を可能な限り取り除き、レースに専念できる環境を作るため、若手OB・OG20名(R3卒-2名、R4卒-8名、R5卒-2名、R6卒-8名)を中心に、大会計画、当日の海上・陸上運営すべてを担いました。

【大会概要】

7/13(土): 開会式、OBレース、現役プラクティスレース、レセプション

7/14(日): 現役レース1日目

7/15(祝): 現役レース2日目、閉会式

【レース結果】

現役レース結果についてはP7、

OBレース結果についてはP23を参照ください。

【レセプション】

場所: 海陽ヨットハーバー大屋根下(屋外)

内容: OBレース表彰、主将挨拶・出し物、エール交換

参加人数: 現役338名、OB・OG77名、計415名



閉会式



運営を担った若手OB・OG



閉会式

【会計報告】

収支は+136万円となり、現役の新艇、レスキュー艇等の購入費用に充当します。

収入		支出	
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
大学援助①	4,170	会議室、運営艇、ヨット借用費、マスト8本、交通費、謝礼	4,120
大学援助②(追加分)	2,320	ヨット整備費、運営食事・宿	2,320
現役エントリー費	900	OBレース諸経費	270
OBレースエントリー費	350	レセプション費	1,060
レセプション費	1,320	観覧艇諸費用	10
観覧艇乗船料	80	支出合計	7,780
収入合計	9,140		
		差引	1,360

名大主管七大戦報告（レセプション・懇親会）

事務局 野中知秀

今年は14年ぶりに名大主催で七大戦が開催されました。久しぶりに全国からOBが集まる良い機会であるということで、現役・OB合同レセプション（海陽YH）終了後、三谷町の料亭「辰巳」に於いて懇親会をセッティングしました。関東支部のS62 中国さんの声掛けにより、関東からはもちろん、熊本や岡山からも懐かしい顔が集い、総勢30名余りのOB諸氏が楽しいひと時を過ごしました。



レセプション会場に集合



現役と一緒に



レセプション前のひととき



現役との歓談



懇親会会場 会長あいさつ



記念撮影

みなはや会関東支部総会報告

2024年11月24日
関東支部 S62 中国 竜一

参加者（敬称略）

S37 松林 恒雄 S41 石黒 広洲 S43 板倉 正衛 S43 大野 博久 S43 立木 泰 S44 千葉 由一
S49 辻本 眞明 S59 河村 俊樹 S60 横田 敏彦 S62 中国 竜一 H5 千葉 勝久

会議の様子

- 11月24日（日曜日）11時から15時 銀座の居酒屋。ここ数年、同じ店で開催しています。6000円弱で広い個室、そこそこの料理、4時間飲み放題、プロジェクター無料貸し出しの好条件。2025年も同店にて11月下旬に開催予定。
- 昨年に続いて現役部員からの15分ほどのビデオレターを上映しました。新主将プロデュース及びMCのもと、現役最上級生8人が車座になって、名大ヨット部の課題とOBへの要望について話し合っていました。現役部員の活動とその裏にあるインサイトを垣間見ることができる動画でした。
- 参加者11名それぞれが、自己紹介及び近況報告・昔話紹介をいたしました。面白そうな話題が出現するたびに他の参加者からのコメントが入り、平均して一人当たり15分、合計で2時間超えの自己紹介タイムとなりました。
- 関東のA級ディンギー活動が報告されました。2024年7月6・7日には全日本A級ディンギー大会、11月26・27日には葉山レガッタに参加しています。全日の様子が舵オンラインで紹介されております。今も元気に走るA級ディンギーが見られます。
(https://www.kazi-online.com/articles/aclass_dinghy_2024_1) 2025年の全日本A級ディンギー大会は銚子にて開催されます。
- 名古屋大学ヨット部とみなはや会のホームページもしくはSNSの発信を紹介しました(P42参照)。それらへのリンクをバーコード化し、プリントして参加者に配ると同時に、実際に発信内容の一部をスクリーンにて上映いたしました。



後列 S59 河村 S62 中国 S43 大野 S43 立木 S49 辻本 S60 横田
中列 S43 板倉
前列 S44 千葉 S37 松林 S41 石黒 H5 千葉



大阪大学ヨット部再生の施策

副会長 石原晶子

2024年12月7日、大阪大学ヨット部90周年記念式典に岡野会長と参加してきました。その式典で記念講演を行った水上真吾さん（同志社大学体育会ヨット部OB会会長、元大阪大学ヨット部ヘッドコーチ）の講演内容を紹介したいと思います。

水上さんは10年以上前、現役員減少に直面していた大阪大学ヨット部のヘッドコーチに就任し、様々な施策を展開して部を再生されました。この施策内容を名大現役に共有する事で、彼らが自らヨット部活性化を検討する際の参考情報の一つとなればと期待します。

【目標とスローガン】

目標：「人材育成」

スローガン：「努力は夢中に勝てない」

孔子の『論語』→「知之者不如好之者、好之者不如樂之者」

単に努力するだけではなく、夢中になって楽しむことが最も重要であり、その方がより大きな成果を生む。

【再生への具体的施策】

- ① 新歓インターンシップ：ヨット部新入生の勧誘は、アンマッチがないように4日間インターンシップ的な活動をして、ヨット部の活動に理解を進めてもらった上で入部する事とした。インターンシップ後、残った一年生に対してはヨット部入部式を開催し受け入れた。
- ② 志シート：具体的な目標設定を各自行い、部内で共有した。
- ③ バディ制度：クラブでも大学でも対話が進められる様、同じ学部の上級生と下級生のペアを組む事で交流促進、ギャップ解消を図った。
- ④ 学業優先：単位不足者は退部させることを公言し、学業を優先させた。
- ⑤ ファミリーデー：活性化させる事で関係者や支援者が増えた。
- ⑥ 大学院生コーチ制度：阪大ヨット部OBで大学院生となったOBをコーチとして招集し現役を支援してもらった。

【海外交流と現役支援】

- ① 海外のヨット部との交流：台湾中山大学ヨット部との交流会を2017年から開始した。1年毎にお互いを行き来し、渡航費はゲスト大学が負担、現地でのホームステイ等諸費用はホスト大学が負担し、文化交流も行った。
- ② OB・OGとの定例会：現役支援を強化するため毎月OB・OGが集まり定例会を行った結果、現役増だけではなく、資金も集まりヨット道具類が集まった。



470級導入の経緯

S47 水野久雄 S49 辻本眞明

昭和47年（1972年）インカレまでは、A級ディンギー（国際A級12フィート・ディンギー）とスナイプ級の2艇種でレースが行われました。A級ディンギーの性能が時代に合わなくなって来たことから学連では新艇種導入が検討され、昭和48年（1973年）のインカレからA級ディンギーに代わって新艇種470級が採用されることになりました。

昭和47年卒マネジャーの水野久雄氏が病氣から回復され、以下の文を送って下さいました。

「A級ディンギーを廃止するという話が出てきて、その代わりに470級が候補の一つに上がりました。470級を設計したのはフランス人であり、連絡を取ろうにも全く当てもない。そこで聞きたいことをメモし、文学部仏文科の先生に持ち込んだのです。英語でもまともに手紙を書いたこともない私にヨットのヨの字も知らない先生がフランス語の手紙を書いて下さったのです。

学連で470級を採用することであり、東京の学連有本さん？と連絡を取らせて頂きました。具体的な検討は東京の方（学連と日本ヨット協会）で行われました。470級かファイアーボール級かなどということは、ほとんど東京の方で議論が行われたと思います。具体的に470級を導入することについては有馬さん（日本ヨット協会）が中心になられたと記憶しています。」

以上が水野久雄氏からのお便りです。以下、辻本が少し補足させて頂きます。

A級ディンギー廃止理由

- (1) 船大工が減っている現在A級のような鎧張り艇では価格の上昇が著しい。
- (2) A級ではスピード感覚が掴みにくく、スピード不足により戦術的応用範囲が狭い。
- (3) A級は元来一人乗り用の艇であり、クルー独自の仕事がない。
- (4) ガフの使用により艦装に限界がある。
- (5) 転覆した場合、自己復元が困難である。

新艇種採用条件

- (1) 安全性が確かなこと。（自己復元が容易であることも含む。）
- (2) 比較的低価格を維持出来ること。
- (3) 造艇規格が厳格なこと。
- (4) 難易度が中級程度であること。
- (5) スピンネーカー、トラピーズ装備のプレーニングボートであること。
- (6) 外観が魅力的であること。

新艇種選定に当たっては、470級とファイアーボール級が最終候補となり、学連は最終的に470級導入を選択しました。

会員の近況

1976年のモントリオールオリンピックから470級が五輪種目になったことを考えると学連の470級選定は正解だったと言えます。五輪種目選定に当たっても470級とファイアーボール級が検討され、1票差で470級に決まったということです。

470級は1国1造船所に限られていたため入札が行われ、ヤマハが470級製造の権利を獲得しました。輸入艇も禁止されました。

新艇種への移行方法としては昭和48年（1973年）インカレから一気に470級の3艇レースに移行するという思い切った方針が取られました。

各大学とも470級の艇導入に時間がかかり、前年秋から延期された新人インカレを4月に1艇レース（3組乗り回し）で実施し、7月の中部インカレでは470級は2艇レース（3組乗り回し）で実施しました。中部インカレ470級は名大が優勝しました。全日本インカレは11月に葉山森戸海岸で3艇レースで実施されました。470級第1回の優勝は同志社でした。

この年、鬼崎の名大艇庫・合宿所が新築されましたが、A級、スナイブ級、470級の3艇種を保管すること、艇の整備の自由度を考慮し、2段式フロアの艇庫としました。この方式は他大学でも採用され、蒲郡移転時の艇庫でも受け継がれました。

艇庫・合宿所建設及び470級導入に関しては、橋本秀和氏（1971年卒）、水野久雄氏（1972年卒）、森研氏（1973年卒）の3代のマネジャーが次代のために多大な努力をして下さいました。大学側の理解もあり、昭和48年（1973年）4月に3艇の470級を導入することができました。艇番号は、J 78、J 140、J 204でした。

スナイブ級のインカレ採用から76年、470級のインカレ採用から52年が過ぎ、艦装は進化しましたが、この2艇種は学生に合った良い艇種であると思います。

4年という限られた期間の中でより良い成果を目指されますよう現役員のご活躍をお祈りします。安全にはくれぐれも注意して下さい。

参考文献：みなはや33号、45号、特別号

S37 菰田光治 10/10に知多カントリークラブでみなはやゴルフ会を開催しました。参加者は畑中さん(S36)、中村さん(S38)、林さん(S38)、都築さん(S40)、近澤さん(S41)と私の6名で、残念ながら早川さん(S32)は直前に体調不良で欠席となりました。幹事はゴルフ場のメンバーである中村さんにお願ひし、当日は好天に恵まれ大いに楽しみました。常連のメンバーも高齢となり、是非若いOBにも参加いただき継続させていきたいものです。



S42 松原正英 千葉県富津岬近くの「終の棲家」でのんびり暮らしています。昨年の七大戦の応援で、多数の現役がレースや運営に頑張り、OB/OGも大勢集まったのを見て、今昔の感を覚えました。本当に良かったです。

S43 大野博久 昨年末にアラエイティの3人が、新築された松原さん(S42)のご自宅（富津）に呼んで頂き、4人で楽しいひと時を過ごしました。その直後、先輩の深沢さんの無言のプレッシャーにより、LINEの接続で、楽しい苦労をさせられました（笑）。

S43 立木 泰 千葉、稲毛で、A級ディンギーに、河村さん(S59)、中園さん(S62)らと共に乗っています。今年7月には、銚子ハーバーで、A級ディンギー協会の、レースがあるので、なんとか出たいと計画しています。

S44 千葉由一 表立った病気はなく一応元気です。いつまで健康寿命があるのか、が気がかりなところで今のうちにいろいろなところへ旅行したいと思っています。

S44 森田庄次 地元でベートーベン交響曲第9番合唱付きの合唱団に参加。100人の内男性30人、バスパート15人の中の一人で慣れないドイツ語歌詞を2024年7月からほぼ毎週日曜日午前に練習。2025年3月のプロオーケストラとの演奏の間に合うように目下奮闘中。2024年12月19日満78歳。

S49 辻本眞明 昨年は二つ嬉しく思いました。一つは、中部インカレで健闘したこと。良く頑張ったと思います。あと一つは、七大戦を開催できたこと。若いOBの活躍に感謝します。今年も期待しています。頑張れ名大！

S57 服部謙吾 次男も就職し扶養義務より解放されました。家内と旅行三昧・・・と行きたい所でしたが、昨年より業界の代表を引き受ける事となりました。

S59 河村俊樹 3年前に36年勤めあげたHondaを退職して自由時間が激増したこともあり、昨シーズンから、立木先輩(S43)と中園くん(S62)らのA級ディンギーサークル(@千葉県稲毛ハーバー)で久しぶりのセーリングを楽しんでいます。各地から20艇のA級が競った葉山レガッタ(10月)では、成績はともかく、「ディンギーレースってこんなに楽しいものだったんだ！」と感激ひとしおでした。



S59 杉浦 衡 シーホッパーと会社のヨット部を続けています(写真は11/2,3 シーホッパー全日本、後の11596です)。NHK 魔改造の夜に参戦(1/30 放映、ビニール傘の回)、羽製作担当で切り出しはセールカッティングをイメージ、羽を連結するテグスでロープワークとヨット部アピールしてました。



S59 佐野宏己 上司命令で農薬の安全性に関する「講師もどき」を時々やっています、岐阜で行った様子がなぜか新聞に載りました。全員で10名ほどの参加者でした。



S59 小川伸也 息子2人が所属していた地元の少年サッカーチームの運営指導に関わっており、以前はU12(小6、5年生)を担当していたのですが、流石にしんどくなって、今は3年前にサッカー協会登録してスタートしたU6(園児)が直の担当です。最近では“監督”ではなく、“園長先生”と呼ばれています。私、後ろの方、向かって左端で手を挙げています。



S59 野寄昭夫 仕事は生命保険会社勤務を続けており、あと2年ほど続けるつもりです。ヨットは卒部後10年ほど葉山で会社のシーホースに乗っておりました。その後、ヨットとは遠ざかりましたが、10年ほど前より三浦半島の小網代で月1回開催されるクルーザーのヨットレースに参加しております。写真の赤い艇です。



S62 中園竜一 相変わらず、自由気ままに刺激を求めて、楽しい生活を送っています。時折、みなはや会関東支部の活動の活性化のために次の企画に向けて構想しています。

H02 今枝靖久 アクアミュージアムに乗っています。昨年は野中(S60)さんと木曽川で乗りました。カートップが一人でできるので、気軽にヨットが楽しめます。興味のある方は連絡ください。 yasuimacda51@gmail.com

H08 古川裕之 昨年はJSAFルール委員会でRRS翻訳の責任者として胃の痛い1年でした。全日本学生ヨット連盟の会長になりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

計報

S30 松林隆造様 S30 足立駿様 S32 鬼頭敏夫様 S32 水野堅一様 S47 森重夫様
謹んでお悔やみ申し上げます。

2024年度 みなはや会総会記録

2025年1月18日 16:00~17:30

オフィスパークプレミア会議室 307

出席者(敬称略)

会議室(23): S37 菰田光治 S40 都築晃 S44 森田庄次 S48 野田道典 S51 奥村暢朗
S57 杉田仙太郎 S57 服部謙吾 S59 岡野悟 S59 河村俊樹 S59 杉浦衡
S60 野中知秀 S61 大橋哲二 H05 石原晶子 H05 伊藤貴宏 H08 古川裕之
H23 小野内健太 以下現役3年 杉森光 川上直也 林小夏 岩田明日翔
近藤駿 近藤美咲 柴田海
Zoom(9): S44 千葉由一 S48 佐藤彰良 S49 辻本真明 S62 中園竜一 H02 今枝靖久
H24 三浦健介 R03 田中将智 R03 酒井惟司
新年会から参加(1) S50 高井茂雄

議題

1. 開会あいさつ 岡野会長
2. 部長あいさつ (伊藤先生体調不良で欠席のためなし)
3. 役員人事、会則見直し案(P33)について 岡野会長
 - ・S57 杉田仙太郎→副会長
 - ・S60 野中知秀→事務局長
4. 報告事項 事務局野中
 - ・H08 古川裕之氏 全日本学生ヨット連盟会長就任
 - ・みなはや会活動報告(P23)、会計報告(P35)
 - ・ヨット部ホームページ紹介(P34)
5. 名大主管七大戦報告(P24-25) R03 酒井
6. 現役活動報告および470艇の現状(P4-12) 現役
7. 新艇・レスキューボート等の購入計画(P12) R03 田中監督
8. その他

ご意見

3. 部の組織としてコーチは置かないのですか。(古川)
6. 現役へのアドバイス(奥村)
 - ・ミーティングは、クラス別々より合同でやるべきだと思います(チームとしての戦い方・戦術は470もスナイプも同じ)。
 - ・スキッパー、クルーの役割の固定化は、技術の伝承が難しいと思います。
8. 公式の場でのエール交換時に披露する歌について、第八高等学校寮歌「伊吹おろし」よりも学生歌「若き我等」か、応援歌「天にとどろく」の方がよい方だと思います。(森田)
8. 名大周年記念の予定はありますか。(河村) → 候補95周年、100周年
※上記ご意見については、役員会・現役で検討していきます。

みなはや会 会則

2006年5月20日
2025年1月18日改定
(赤字変更点)

1. 総則

この会則は、名古屋大学ヨット部OB・OG会「みなはや会」について定める。
当会則の変更は総会に諮り決するものとする。

2. 目的

みなはや会は会員相互の親睦を深めるとともに、名古屋大学ヨット部の活動を支援することを目的とする。

3. 会の構成、会員

当会は名古屋大学ヨット部卒部者である会員で構成する。
新会員は卒部生の総意で決定する。卒年は卒部年とする。
みなはや会会長は退任後、名誉会長となる。ヨット部長は名誉会員となる。

4. 役員・組織

会には次の役員を置く。任期は2年とするが、再選をさまたげない。**役員は総会において選任する。**
役職および人数については、必要に応じて総会に諮り変更することができる。

- ・会長（1名）
- ・副会長（若干名）
- ・事務局長（1名）
- ・監督（1名）
- ・関東支部長（1名）
- ・幹事（数名）

5. 総会および役員会

当会の最高決定機関は総会であり、**毎年一回**これを開催する。
必要に応じて**役員会**を開催し、重要案件について協議・決定することができる。

6. 会員の義務

会費の納入、寄附金の協力その他、現役の支援に努める。
会費は年一万円とする。
住所・電話番号・メールアドレスなどの変更は、**速やかに事務局**に連絡する。

7. 会の活動に係る費用

会の活動及び会を代表して参加する行事等に係る費用のうち、役員会で承認を得たものについては会
で負担することができる。

8. 会計年度

会計年度は**1月1日より12月31日まで**とする。
総会において会計報告を行う。

以上

名古屋大学ヨット部ホームページの紹介

名古屋大学ヨット部ホームページのトップページのタブ「卒部生の皆様へ」に「機関誌みなはや」「特定基金について」「グッズ販売」を掲載しております。

卒部生の皆様へ



■機関誌みなはや

歴代のみなはや（1984年以降）や関連資料が閲覧できます。

（会員名簿等の個人情報のページは除いております。）



海洋市民航路の発見①

新航路実証の構想
北米大陸内水路で大西洋・太平洋を結ぶ

■特定基金（名古屋大学ヨット部運営支援事業）について

寄附募集の趣旨、基金の使途・目標額、寄附者の特典についての説明があります。

寄附の申し込みができます。

■グッズ販売

名大ヨット部の公式グッズを販売しております。



キャップ



ポロシャツ



タオル

会計報告

事務局 野中知秀

2024年 決算
2024/1/1～2024/12/30

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越	1,716,294	1,716,294
会費収入	700,000	840,000
寄附金収入	500,000	649,720
七大学名大主催収入	300,000	別会計
利息	4	74
	2024年収入計	1,489,794
収入の部合計	3,216,298	3,206,088

支出の部		
科目	予算	決算
現役活動支援費	1,550,000	1,061,155
中部OBレズ関連費	50,000	35,000
七大学OBレズ関連費	50,000	50,000
七大学名大主催支出	300,000	別会計
日本A級デインギ-関連費	25,000	0
他大学周年記念参加費		44,000
総会費	30,000	0
機関誌みなはや印刷費	100,000	72,559
通信費	100,000	78,575
手数料	10,000	12,529
	2024年支出計	1,353,818
次年度繰越	1,001,298	1,852,270
支出の部合計	3,216,298	3,206,088

残高計算書	
ゆうちょ振替口座残高	780,235
三菱UFJ銀行口座残高	1,072,035
合計	1,852,270

名古屋大学特定基金(ヨット部運営支援事業)への寄附の状況 (2024/3/15～2025/2/15)

寄附者数	21
寄附合計額	1,940,000

2025年 予算

収入の部	
科目	予算
前年度繰越	1,852,270
会費収入	1,200,000
寄附金収入	800,000
利息	70
収入の部合計	3,852,340

支出の部	
科目	予算
現役活動支援費	2,400,000
中部OBレズ関連費	50,000
七大学OBレズ関連費	50,000
日本A級デインギ-関連費	25,000
他大学周年記念参加費	30,000
総会費	30,000
機関誌みなはや印刷費	80,000
通信費	80,000
手数料	10,000
次年度繰越	1,097,340
支出の部合計	3,852,340

みなはや会口座 年会費・寄附納付者リスト

塗りつぶしは寄附納付者

2024/1/1～2025/2/15

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
S30 1955	堀村 功	S41 1966	竹内 靖	S57 1982	服部謙吾	H8 1996	大西高広
S30 1955	関村郁夫	S41 1966	石黒広洲	S57 1982	杉田仙太郎	H8 1996	藪谷智規
S32 1957	早川雅正	S42 1967	深澤 滋	S58 1983	鬼頭俊之	H9 1997	梅田善和
S32 1957	柴山弘之	S42 1967	松原正英	S59 1984	岡野 悟	H9 1997	澤 滋
S32 1957	上山 正	S42 1967	河内正水	S59 1984	河村俊樹	H11 1999	南原健一
S33 1958	鉄村浩久	S43 1968	板倉正衛	S59 1984	佐野宏己	H24 2012	三浦健介
S33 1958	石垣 健	S43 1968	常木啓三	S59 1984	杉浦 衡	R3 2021	田中將智
S33 1958	常木正則	S43 1968	大野博久	S60 1985	横田敏彦	R3 2021	酒井惟司
S33 1958	小野陸永	S43 1968	立木 泰	S60 1985	反町英一郎	R4 2022	上田敏暉
S35 1960	小田秀一郎	S44 1969	森田庄次	S60 1985	野中知秀	R4 2022	吉岡 翼
S36 1961	三村一夫	S46 1971	小田哲広	S61 1986	近藤洋史	R4 2022	三浦裕玖
S36 1961	内田健介	S49 1974	小川 裕	S62 1987	塚本憲司	R4 2022	平野桂人
S37 1962	松林恒雄	S46 1971	前田達郎	S62 1987	中園竜一	R4 2022	相羽航平
S39 1964	澤田擁子	S47 1972	丸田幸次	S62 1987	篠原佳則	R4 2022	小野広喜
S37 1962	北川 公	S48 1973	野田道典	S62 1987	小山 聡	R4 2022	野竹みちる
S37 1962	菰田光治	S48 1973	佐藤彰良	S63 1988	石黒太郎	R4 2022	江口祐紀
S37 1962	河合義生	S48 1973	山内照明	H1 1989	泉並良二	R5 2023	吉野花梨
S38 1963	笹川正信	S49 1974	辻本真明	H2 1990	山崎浩志	R6 2024	荒島聡太
S38 1963	中村和一郎	S50 1975	高井茂雄	H3 1991	田中正行	R6 2024	木村友哉
S38 1963	林 一彦	S51 1976	奥村暢朗	H4 1992	海野 基	R6 2024	藤澤 翔
S39 1964	長江尚之	S52 1977	石川延宏	H5 1993	千葉勝久	R6 2024	近藤美有宇
S40 1965	都築 晃	S54 1979	服部和規	H5 1993	清水直人	R6 2024	谷 舞子
S40 1965	山口俊三	S54 1979	斎場昌宏	H5 1993	石原晶子	R6 2024	富田咲花
S41 1966	加藤鎮雄	S54 1979	玉谷弘明	H5 1993	伊藤貴宏	R6 2024	岡村太暉
S41 1966	近澤克一	S54 1979	飯見 均	H8 1996	安藤 篤		

※特記なき限り、1万円を超える入金は1万円を年会費、残りを寄附金とさせていただきます。

名古屋大学特定基金(ヨット部運営支援事業) 寄附納付者リスト

2024/3/15～2025/2/15

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名		氏名
S32 1957	柴山弘之	S54 1979	服部和規	S62 1987	小山 聡	一般	木村利恵子
S33 1958	石垣 健	S57 1982	三品 孝	H6 1994	河野克彦	一般	森田ゆかり
S38 1963	中村和一郎	S57 1982	服部謙吾	H9 1997	梅田善和	一般	横井秀司
S43 1968	板倉正衛	S57 1982	杉田仙太郎	H20 2008	渡辺淳史	一般	永井晶子
S43 1968	常木啓三	S59 1984	岡野 悟			一般	奥村幸子
S52 1977	市村 格	S62 1987	篠原佳則				

☐ 永眠 ☒ 退会後不明 ☒ 発送・配信停止希望 ☐ 住所不明

会員番号	卒年	氏名	住所	会員番号	卒年	氏名	住所
名誉会長	東大S14工	1939	古屋善正	38	18工	1943	中村 勇
名誉会長	S16医	1941	鈴木浩平	39	17医専	1942	三輪春雄
名誉会員	S28医	1953	阿久根淳	40	17医専	1942	縣 榮一
名誉会長	S30医	1955	大橋郁夫	41	17医専	1942	木下公道
特別会員	S34医	1959	伊藤喬廣	42	17医専	1942	水野憲治
名誉会長	S44経	1969	森田庄次	43	25経専	1950	安藤壽朗
名誉会長	S48工	1973	佐藤彰良	44	19工	1944	林 巖
名誉会員	京大S36工	1961	多賀直恒	45	18医専	1943	奥村一馬
名誉会員	S49工	1974	林 良嗣	46	18医専	1943	早川 武
会長	S59工	1984	岡野 悟	47	21医	1946	伊藤慧脩
部長	京大工		伊藤靖仁	48	19医専	1944	松本盛雄
				49	19医専	1944	森田 譲
				50	22医	1947	阿部鏡太郎
				51	22医	1947	石井淳一
				52	22医	1947	前田 潤
				53	22医	1947	渡邊 靖
				54	21工	1946	武藤洋治郎
				55	20医専	1945	早川実雄
				56	23医	1948	梅北豊二
				57	23医	1948	河辺充孝
				58	23医	1948	若山日名夫
				59	23医	1948	伊藤 裕
				60	23医	1948	青木良雄
				61	23医	1948	金子 明
				62	22経専	1947	西脇一夫
				63	22経専	1947	山路利夫
				64	24医	1949	福原 政
				65	22経専	1947	大島為次
				66	26医	1951	鳥居 寛
				67	26医	1951	長谷川快隆
				68	26医	1951	木村和夫
				69	26医	1951	松本昭夫
				70	23医専	1948	渡辺恭昭
				71	25工	1950	野田鈴男
				72	25工	1950	渡辺金之助
				73	25工	1950	小塚敏夫
				74	25工	1950	森 葆
				75	25工	1950	八木源太郎
				76	25工	1950	山内 卓
				77	24医専	1949	岡部 豊
				78	24医専	1949	岡山 弘
				79	23経専	1948	中野昌弘
				80	23経専	1948	田中 慧
				81	23経専	1948	赤塚昭二
				82	27医	1952	小西陽一
				83	27医	1952	蓮見恵彦
				84	27医	1952	平野清九郎
				85	27医	1952	藪内百治
				86	26工	1952	鳥居末雄
				87	24経専	1949	磯貝忠司
				88	24経専	1949	山下一正

会員 番号	卒年		氏名	住所	会員 番号	卒年		氏名	住所
89	28医	1953	阿久根淳		140	32工	1957	早川雅正	神奈川県葉山町
90	28医	1953	福岡 宏		141	32工	1957	伊藤博之	
91	28医	1953	江崎利雄		142	32理	1957	柴山弘之	埼玉県所沢市
92	27経	1952	大田 三郎		143	32工	1957	長谷川憲治	
93	27工	1952	津元光夫		144	32工	1957	上山 正	東京都調布市
94	27工	1952	平岩良男		145	32経	1957	水野堅一	
95	25経専	1950	田中昭三		146	33工	1958	大矢 隆	名古屋市市中区△
96	25経専	1950	蜂矢茂男		147	33経	1958	鉄村浩久	名古屋市昭和区
97	29医	1954	岡島光治	愛知県豊田市	148	33工	1958	安藤民憲	
98	28工	1953	井上寿男		149	33経	1958	石垣 健	名古屋市緑区
99	28工	1953	小澤淑男	△	150	33経	1958	常木正則	名古屋市北区
100	28工	1953	松園 愷	△	151	33工	1958	小野陸永	千葉県松戸市
101	28工	1953	水野謙一		152	33工	1958	丹羽嘉孝	大阪府茨木市
102	28工	1953	河井宏臣	△	153	33工	1958	細川啓之助	
103	26経専	1951	近藤源也	△	154	33工	1958	坂倉敏雅	△
104	26経専	1951	沢田玄一		155	34法	1959	早瀬 幹	
105	26経専	1951	熊沢忠雄		156	34法	1959	志知正満	
106	26経専	1951	増岡 広	△	157	34工	1959	安田武文	△
107	26経専	1951	木全 茂		158	34工	1959	吉田弘明	
108	26経専	1951	木下 進		159	34工	1959	永井美弘	
109	26経専	1951	野田 登		160	34工	1959	村井洋一	名古屋市千種区
110	26経専	1951	杉本英三		161	34工	1959	清水貞夫	
111	26経専	1951	武田徳広		162	34経	1959	宮地建一	愛知県岩倉市
112	26経専	1951	竹中良巳		163	34理	1959	丹羽由昌	
113	26経専	1951	牧野		164	34文	1959	丹羽徳子	愛知県一宮市
114	30医	1955	大島照夫		165	35工	1960	柴田 篤	
115	30医	1955	大橋郁夫		166	35工	1960	中村孝爾	
116	28経	1953	山本弘治		167	35経	1960	服部省二	
117	28経	1953	中村 功		168	35工	1960	高見敏彦	△
118	28工	1953	小池不二		169	35工	1960	寺沢 隆	
119	28工	1953	種田大作		170	35工	1960	小田秀一郎	神奈川県藤沢市
120	29工	1954	中川和夫	東京都練馬区	171	35工	1960	安田泰雄	東京都府中市
121	29工	1954	鈴木康弘	広島市安佐南区	172	35工	1960	川津慎二	
122	29工	1954	竹内 威		173	35工	1960	滝本 正	
123	29経	1954	伊藤浩夫	愛知県知立市	174	38医	1963	平 恭司	
124	30工	1955	石川富士夫		175	38医	1963	村井みほ	名古屋市千種区
125	30理	1955	松林隆造		176	36理	1961	三村一夫	岐阜県多治見市
126	30工	1955	堀村 功	東京都八王子市	177	36工	1961	岡戸弘行	愛知県尾張旭市
127	30経	1955	山本光夫		178	36工	1961	中川公二	埼玉県狭山市
128	30経	1955	関村郁夫	名古屋市瑞穂区	179	36法	1961	畑中正治	愛知県常滑市
129	30文	1955	足立 駿		180	36法	1961	山口正道	東京都国分寺市
130	33医	1958	村松省吾	△	181	36工	1961	井上明男	
131	30法	1955	近藤郁郎		182	36理	1961	内田建介	米国カリフォルニア州
132	31経	1956	山本 誠	兵庫県川西市	183	37工	1962	松林恒雄	静岡県熱海市
133	31経	1956	横井弘伊		184	39医	1964	澤田雍子	名古屋市名東区
134	31法	1956	川口 巧		185	37農	1962	北川 公	東京都練馬区
135	31経	1956	加藤三樹雄		186	37農	1962	吉野 豊	△
136	31経	1956	中村 劭		187	37工	1962	菰田光治	愛知県長久手市
137	32工	1957	鬼頭敏夫		188	37工	1962	河合義生	新潟市東区
138	32理	1957	曾我二郎		189	37工	1962	山田裕保	
139	32法	1957	久米映二	愛知県東浦町	190	37経	1962	村井千尋	名古屋市名東区

会員 番号	卒年		氏名	住所	会員 番号	卒年		氏名	住所
191	37工	1962	栗原仙幸	浜松市中区	242	43工	1968	林 隆	
192	38工	1963	笹川正信	愛知県東海市	243	43工	1968	吉川 守	大阪府堺市
193	38経	1963	横田耕児		244	44経	1969	石田邦彦	兵庫県西宮市
194	38経	1963	中村和一郎	愛知県常滑市	245	44理	1969	千葉由一	東京都町田市
195	38農	1963	林 一彦	名古屋市中区	246	44工	1969	武馬雅憲	横浜市港南区
196	38農	1963	伊藤 潔	愛知県扶桑町	247	44工	1969	市川 孝	愛知県岡崎市
197	38工	1963	小林 治	横浜市栄区	248	44工	1969	齋田 正	△
198	38工	1963	鈴木陸永	岡山県倉敷市	249	44経	1969	杉木義弥	千葉県一宮町
199	38工	1963	安田幸夫		250	44経	1969	森田庄次	愛知県武豊町
200	38工	1963	大坪 彰		251	45工	1970	大泉日出生	三重県鈴鹿市
201	39工	1964	戸塚 宏		252	45法	1970	瀬戸克弘	横浜市磯子区
202	39理	1964	新家俊一	愛知県岡崎市 △	253	45理	1970	今井良二	北海道長沼町
203	39工	1964	杉田北斗	岡山県倉敷市	254	45法	1970	新 一雄	東京都国分寺市
204	39工	1964	伊神生雄	愛知県豊明市	255	45工	1970	小池正明	
205	39工	1964	長江尚之	岡山市東区	256	45理	1970	竹内末広	茨城県東海村
206	40工	1965	西川富夫	愛知県小牧市 △	257	45工	1970	樋口 隆	三重県いなべ市
207	40工	1965	葛谷台三		258	45理	1970	鈴木 章	
208	40工	1965	都築 晃	名古屋市天白区	259	48医	1973	橋本秀和	愛知県瀬戸市
209	40工	1965	岡田義邦	愛知県知立市	260	48医	1973	黒田博文	
210	40工	1965	井上昭彦		261	46工	1971	小田哲広	愛知県豊橋市
211	40工	1965	石川忠彦	△	262	46工	1971	宮田隆夫	
212	40経	1965	織田洋二	長野県安曇野市	263	46工	1971	小田 彰	
213	40工	1965	宮原諄二	神奈川県小田原市	264	46工	1971	榎原耕太	
214	40工	1965	山浦 篤	千葉県船橋市	265	46理	1971	早川 要	愛知県豊明市
215	40工	1965	山口俊二	愛知県岡崎市	266	46工	1971	早瀬雪泰	
216	40工	1965	渡辺建蔵	岐阜県岐阜市	267	46理	1971	村川 昇	
217	40工	1965	土山耕三		268	49医	1974	小川 裕	名古屋市名東区
218	43医	1968	小島洋彦	名古屋市名東区	269	47工	1972	大橋且典	東京都江東区
219	41法	1966	川本義昭	名古屋市緑区 △	270	47経	1972	水野久雄	名古屋市天白区
220	41工	1966	加藤敏雄	横浜市緑区	271	47工	1972	磯谷明宜	静岡市葵区
221	41工	1966	近澤克一	愛知県春日井市	272	47工	1972	金久保勝	横浜市緑区
222	41工	1966	鉄村忠良	静岡県清水区	273	47農	1972	前田達郎	愛知県犬山市
223	41工	1966	竹内 靖	名古屋市昭和区	274	47農	1972	丸田幸次	愛知県春日井市
224	41工	1966	石黒広彦	東京都日の出町	275	47工	1972	森 重夫	
225	41農	1966	大飼忠彦	名古屋市西区	276	50医	1975	関 章	
226	41工	1966	神野淳平	兵庫県尼崎市	277	48工	1973	野田道典	名古屋市千種区
227	41工	1966	中川金衛		278	48工	1973	森 研	大阪府高槻市
228	42工	1967	深澤 弘	静岡県富士宮市	279	48工	1973	佐藤彰良	名古屋市昭和区
229	42工	1967	小野義滋		280	48工	1973	青木 保	横浜市金沢区
230	42工	1967	小川義麿		281	48理	1973	鴨 照夫	川崎市麻生区
231	42理	1967	松原正英	相模原市南区	282	48工	1973	山内照明	東京都八王子市
232	42工	1967	稲垣英夫	愛知県小牧市	283	49工	1974	辻本眞明	東京都中野区
233	42工	1967	加藤史朗	東京都杉並区	284	52医	1977	市村 格	名古屋市昭和区
234	42工	1967	河内正水	三重県紀北町 △	285	50工	1975	篠田陽健	
235	43法	1968	板倉正衛	千葉県市川市	286	50文	1975	高井茂雄	名古屋市西区
236	43経	1968	今尾雅博	三重県桑名市	287	50工	1975	岡崎彰夫	横浜市栄区
237	43経	1968	常木啓三	千葉市花見川区	288	50工	1975	小柳和生	石川県辰口町
238	43経	1968	犬飼修三		289	51工	1976	松島憲章	
239	43工	1968	大野博久	相模原市南区	290	51法	1976	牧 衛	
240	43工	1968	鬼頭 寿	岐阜県各務原市	291	51工	1976	奥村鶴朗	愛知県豊田市
241	43工	1968	立木 泰	千葉県佐倉市	292	52工	1977	村田行帆	横浜市泉区

会員 番号	卒年		氏名	住所	会員 番号	卒年		氏名	住所
293	52工	1977	石川延宏	愛知県知多市	343	1工	1989	小出 肇	大阪府枚方市
294	52工	1977	中島 隆	名古屋市昭和区	344	1工	1989	泉並良二	富山県高岡市
295	52工	1977	菅沼樹美	静岡県湖西市	345	1工	1989	伊藤晴康	東京都江戸川区
296	52工	1977	大場康雄	滋賀県大津市	346	1工	1989	榎原正之	東京都板橋区
297	53工	1978	大中 将		347	1工	1989	野中正志	岡山県倉敷市
298	53工	1978	今井康夫		348	4医	1992	加藤琢也	三重県桑名市
299	54工	1979	岩瀬弥一郎	東京都目黒区	349	2工	1990	佐々木雅人	滋賀県能登川町
300	54法	1979	服部和規	岐阜県各務原市	350	2工	1990	今枝靖久	愛知県一宮市
301	54文	1979	斎場昌宏	横浜市鶴見区	351	2農	1990	山崎浩志	横浜市中区
302	54農	1979	玉谷弘明	横浜市戸塚区	352	3工	1991	林尚一郎	神戸市中央区
303	54理	1979	飯見 均	愛知県岡崎市	353	3工	1991	田中正行	名古屋市緑区
304	55法	1980	太田 寛		354	4工	1992	久良木純也	福岡市中央区
305	55経	1980	加藤高幹	名古屋市天白区	355	4理	1992	海野 基	川崎市宮前区
306	55理	1980	箱田光信	兵庫県宝塚市	356	4工	1992	松岡俊哉	タイ:バンコク
307	55工	1980	武膳啓一		357	4工	1992	後藤世紀	
308	56工	1981	湯浅正典	愛知県一宮市	358	7医	1995	佐藤 悌	東京都品川区
309	56工	1981	小池 伸	愛知県みよし市	359	5工	1993	千葉勝久	東京都小金井市
310	56工	1981	竹尾好弘	横浜市金沢区	360	5工	1993	光井輝彰	岐阜県大垣市
311	56工	1981	中村尚弘	東京都荒川区	361	5工	1993	楢山 修	三重県桑名市
312	56理	1981	平田淳史	名古屋市千種区	362	5理	1993	清水直人	東京都稲城市
313	57工	1982	竹内芳樹	三重県四日市市	363	5農	1993	石原晶子	神奈川県厚木市
314	57工	1982	三品 孝	大阪府茨木市	364	5工	1993	伊藤貴宏	名古屋市東区
315	57農	1982	山本雅博	愛知県春日井市	365	5工	1993	馬場慎二	愛知県知多市
316	57工	1982	服部謙吾	三重県桑名市	366	6工	1994	木村篤史	東京都品川区
317	57工	1982	杉田仙太郎	名古屋市南区	367	6経	1994	河野克彦	川崎市中区
318	58農	1983	小林和治	さいたま市浦和区	368	6工	1994	山羽宏行	名古屋市西区
319	58工	1983	鬼頭俊之	横浜市栄区	369	8医	1996	安藤 篤	名古屋市中区
320	58農	1983	高田信一		370	6工	1994	浅井 剛	神奈川県綾瀬市
321	59工	1984	河村俊樹	埼玉県新座市	371	7経	1995	小林芳晴	
322	59工	1984	杉浦 衡	京都府長岡京市	372	7経	1995	鈴木雅崇	川崎市麻生区
323	59工	1984	佐野宏己	滋賀県野洲市	373	8工	1996	古川裕之	名古屋市昭和区
324	59経	1984	野寄昭夫	埼玉県川口市	374	8法	1996	長谷川明希	富山県富山市
325	59工	1984	岡野 悟	愛知県刈谷市	375	8工	1996	大西高広	群馬県高崎市
326	59経	1984	小川伸也	横浜市青葉区	376	8工	1996	戴谷智規	愛媛県今治市
327	60経	1985	横田敏彦	横浜市泉区	377	8工	1996	八木孝臣	愛知県知多市
328	60法	1985	川角秀之	名古屋市昭和区△	378	11医	1999	中里公亮	三重県伊勢市
329	60経	1985	矢野正樹	愛知県豊明市	379	9経	1997	関守一史	神奈川県鎌倉市
330	60経	1985	反町英一郎	京都市上京区	380	9工	1997	梅田善和	滋賀県大津市
331	60工	1985	野中知秀	愛知県津島市	381	9理	1997	澤 滋	兵庫県西宮市
332	61農	1986	有尾武司	岡山市南区	382	9工	1997	家村高志	愛媛県松山市
333	61理	1986	大橋哲二	愛知県阿久比町	383	10経	1998	米谷友秀	京都市西京区
334	61農	1986	近藤洋史	熊本県菊陽町	384	10工	1998	亀井保宏	岐阜県関市
335	61工	1986	高見俊一	千葉県船橋市	385	10工	1998	齋藤憲一郎	
336	62経	1987	塚本憲司	名古屋市瑞穂区	386	11工	1999	塩月 徹	
337	62農	1987	中園竜一	東京都目黒区	387	11工	1999	南原健一	愛知県知多市
338	62工	1987	藪押法之	熊本県菊池町	388	11経	1999	木部寛清	名古屋市千種区
339	62工	1987	篠原佳則	愛知県日進市	389	12工	2000	岡 利幸	愛知県稲沢市
340	62農	1987	小山 聡	滋賀県彦根市	390	12工	2000	山澤洋一	東京都江戸川区
341	63工	1988	石黒太郎	東京都世田谷区	391	12教	2000	佐藤正好	名古屋市東区
平成					392	12理	2000	蟹江良祐	
342	1工	1989	中本育彦	愛知県豊川市	393	13工	2001	徳川豊治	群馬県吉岡町

会員 番号	卒年	氏名	住所
394	13工	2001 竹本明弘	愛知県武豊町
395	14医	2002 蟹江佳代	
396	15教	2003 小林忠資	
397	16工	2004 重本 剛	
398	20経	2008 渡邊淳史	愛知県武豊町
399	23経	2011 小野内健太	愛知県一宮市
400	23工	2011 酒見建至	三重県鈴鹿市
401	23経	2011 熊崎佑介	名古屋市中村区
402	23工	2011 鈴木卓真	奈良県三郷町
403	24工	2012 三浦健介	滋賀県草津市
404	24農	2012 杉本賢吾	滋賀県東近江市
令和			
405	3工	2021 田中將智	愛知県豊田市
406	3医保	2021 酒井惟司	千葉県八街市
407	4工	2022 相羽航平	大阪府守口市
408	4経	2022 上田敏暉	名古屋市中区
409	4工	2022 小野広喜	愛知県岡崎市
410	4法	2022 野竹みちる	愛知県武豊町
411	4工	2022 平野桂人	三重県朝日町
412	4工	2022 三浦裕玖	愛知県半田市

会員 番号	卒年	氏名	住所
413	4文	2022 吉岡 翼	兵庫県加古川市
414	4工	2022 江口祐紀	愛知県岡崎市
415	5工	2023 吉野花梨	愛知県知立市
416	5医保	2023 高木清楓	愛知県蒲郡市
417	6情	2024 荒島聡太	名古屋市昭和区
418	6情	2024 宮原光彦	名古屋市昭和区
419	6工	2024 木村友哉	名古屋市守山区
420	6工	2024 岡村太暉	静岡県袋井市
421	6農	2024 谷 舞子	愛知県みよし市
422	6理	2024 藤澤 翔	名古屋市千種区
423	6理	2024 近藤美有宇	岐阜県岐阜市
424	6医保	2024 富田咲花	名古屋市昭和区
425	7工	2025 松島良太	愛知県みよし市
426	7農	2025 山田悠貴	岐阜県多治見市
427	7農	2025 鈴木笙太	名古屋市千種区
428	7医保	2025 高橋愛生	愛知県春日井市
429	7経	2025 松平晋之介	茨城県龍ヶ崎市
430	7工	2025 森田裕基	三重県四日市市

- ・住所変更等がありましたら、事務局まで連絡をお願いします。
- ・会員名簿の住所が空欄の方は連絡先が不明です。連絡先をご存じの方は情報提供をお願いします。
- ・他会員の連絡先をお知りになりたい場合は、事務局までお申し出ください。

みなはや会のSNS



名古屋大学ヨット部のSNS



機関誌みなはや2025 第57号
2025年3月発行

連絡先
みなはや会事務局 S60野中知秀
t.nonaka928@gmail.com
〒496-0048 津島市藤里町1-20-805
090-6767-0951

- 年会費・寄附金の振込先
- ①三菱UFJ銀行 鶴舞支店 普) 0577466 名古屋大学ヨット部みなはや会
②ゆうちょ銀行 振替口座 00840-5-29004 加入者名 みなはや会

■名古屋大学特定基金(ヨット部運営支援事業)への寄附申込み

